

ACCESS



公共交通機関を利用の場合

- 近鉄南大阪線「藤井寺」又は「古市」駅下車。近鉄バス「羽曳ヶ丘方面行」又は「四天王寺大学行」に乗車約10分、「府立医療センター」下車すぐ

車を利用の場合

- 近隣の方
 - ・大阪外環状線「軽里北」交差点又は「西浦」交差点 から西へ5分
 - ・大阪中央環状線 → 美原ロータリーから府道堺羽曳野線 → 「野中寺」交差点から南へ5分
- 大阪市内から（約30～40分）
 - ・阪神高速松原線(or近畿自動車道) 松原JCT → 阪和自動車道 美原JCT → 南阪奈道路 美原東IC出 → 道の駅「しらとりの郷・羽曳野」交差点左折
 - ・阪神高速松原線(or近畿自動車道) → 西名阪自動車道 藤井寺IC出 大阪外環状線「軽里北」交差点右折

<http://www.ra.opho.jp/>

大阪はびきの医療センター 検索



地方独立行政法人 大阪府立病院機構
大阪はびきの医療センター

〒583-8588 大阪府羽曳野市はびきの3-7-1
TEL: 072-957-2121(代表) FAX: 072-957-8051(地域医療連携室)

2022年(令和4年)6月作成

Osaka

Habikino

Medical

Center

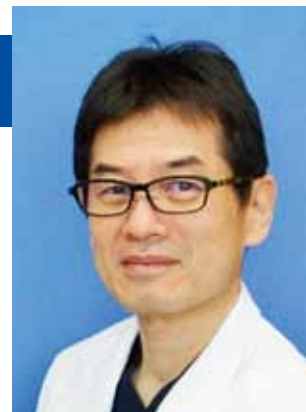
診療のご案内 大阪はびきの医療センター



地方独立行政法人 大阪府立病院機構
Osaka Prefectural Hospital Organization

地域に信頼され、 地域になくてはならない病院へ

大阪はびきの医療センター 院長 山口 誓司



当センター院長の山口でございます。日頃より当センターの運営にご理解・ご協力を賜りありがとうございます。当センターは、「地域に信頼され、地域になくてはならない病院」を目指し、南河内地域の医療ニーズに応える総合的な医療の拠点病院と、呼吸器・肺がん・アレルギー・感染症等の専門病院としての取組みを進めております。

当センターは、昭和27年に大阪府立結核療養所羽曳野病院として大阪府の結核医療を担う320床の病院として開院しました。昭和48年には一般病床を加え、昭和51年には大阪府立羽曳野病院に、平成15年より、大阪府立呼吸器・アレルギー医療センターに名称変更し、平成29年より現在の大阪はびきの医療センターに改称しました。現在、総病床数426床となった当センターは、平成30年にはDPC対象病院へ移行し、大阪府アレルギー疾患医療拠点病院に指定されています。令和3年には地域医療支援病院の承認を受け、今後は更に一般診療の充実を図るとともに、南河内地域の基幹病院としての責務を果たすべく患者総合支援センターを核として病診連携を積極的にすすめております。

開設以来70年近くとなり、当センターが対応する疾患の変化は大きく、結核患者に代わり、慢性閉塞性肺疾患（COPD）等の慢性呼吸不全が増加し、加えてアレルギー疾患が多様化してきております。さらに肺がんが死亡率第一位となり、新興感染症が毎年のように発生してきています。当センターではこのような疾患構造の変化に対応して4センター（呼吸ケアセンター、腫瘍センター、感染症センター、アトピー・アレルギーセンター）を設置し、部門横断的に治療を行っています。

さらには地域の基幹病院として、循環器内科、消化器内科・外科、乳腺外科、眼科、小児科、泌尿器科の一般診療、産科診療施設の減少に対してはNICUや助産師外来を開設して周産期医療に注力しております。加えて今年度より整形外科、救急診療科を開設し、一般診療の更なる充実を図っております。

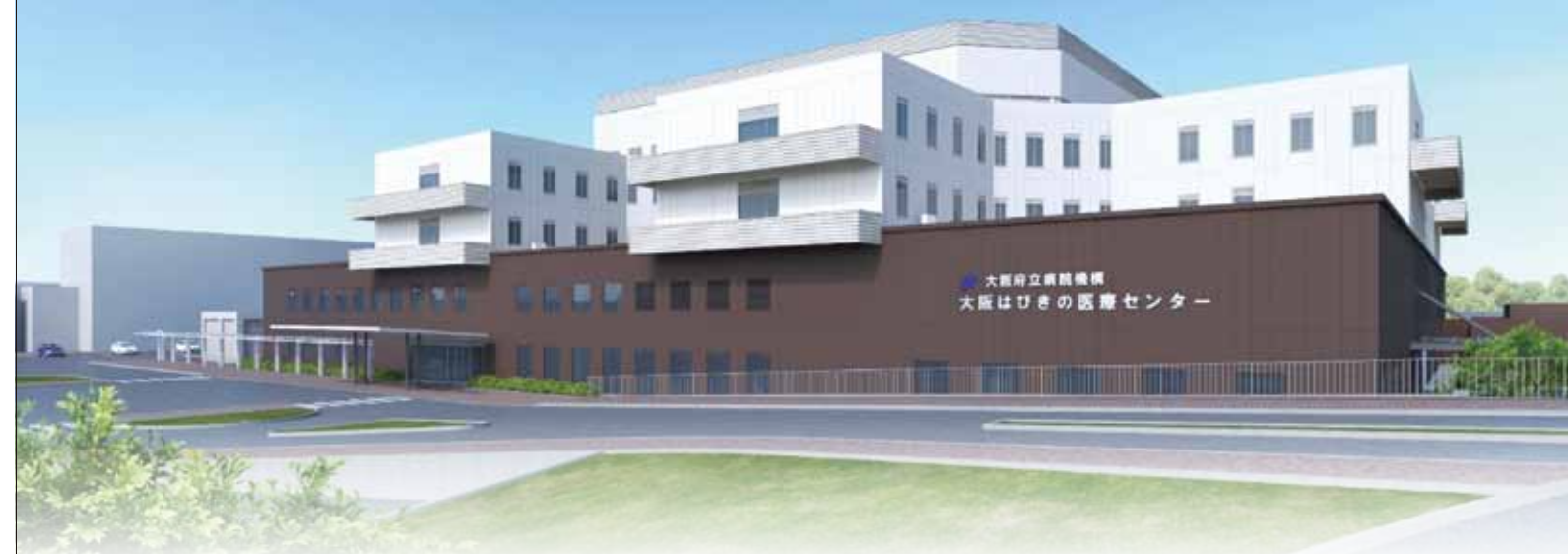
他方、治療と看護、在宅療養との間の調整を看護師と薬剤師の専門スタッフが担っています。特に外来では呼吸器看護専門外来やがん看護専門外来を専門・認定看護師が担当し、薬剤師外来では専門薬剤師が抗がん剤の服薬と副作用確認や小児喘息の吸入指導を行っています。

当センターは、本年12月で開設70年を迎えますが、診療機能の充実、最新の医療水準で最適な医療サービスを提供すべく、令和5年春の新病院開院に向けて建設工事を進めています。

新病院開院を契機として引き続き、呼吸器、肺がん、アレルギー、感染症などの専門病院はもちろん、地域の基幹病院としての責務を全うして参りますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

令和4年6月吉日

新病院、令和5年春オープン！



最新の医療水準で最適な医療サービスを提供します

診療機能

主な諸室

手術室 6室（ハイブリッド手術室含む）、
ICU 4床、HCU 12床、NICU 3床、救急センター
外来化学療法室 20室
陰圧対応室：手術室、結核・感染症病床、エコー検査室、
内視鏡検査室、X-TV室、透析室など

主な医療機器

手術支援ロボット、手術ナビゲーションシステム、アンギオ、
リニアック、ガンマカメラ、体外衝撃波結石破碎装置、
MRI2台（3T、1.5T）、CT2台、一般撮影装置、
診断用X線TV装置、乳房撮影装置



鉄骨造・6階建（免震構造）



エントランスホール



外来ブロック受付・外来待合



1床室



4床室

病院のポリシー

理念

私たちは、最新の医療水準で、最適な医療サービスを、思いやりの心をこめて提供します。

基本方針

- あらゆる呼吸器疾患に対し、常に最高水準の医療を提供します。
- 結核根絶に向けて全人的な医療を提供します。
- アレルギー疾患に対し、最新の知見を取り入れ、最適な医療を提供します。
- 安心して頼りがいのある、府民と地域のための医療機関を目指します。
- 誠意と温かみのある、やさしい看護を実践します。

患者の権利

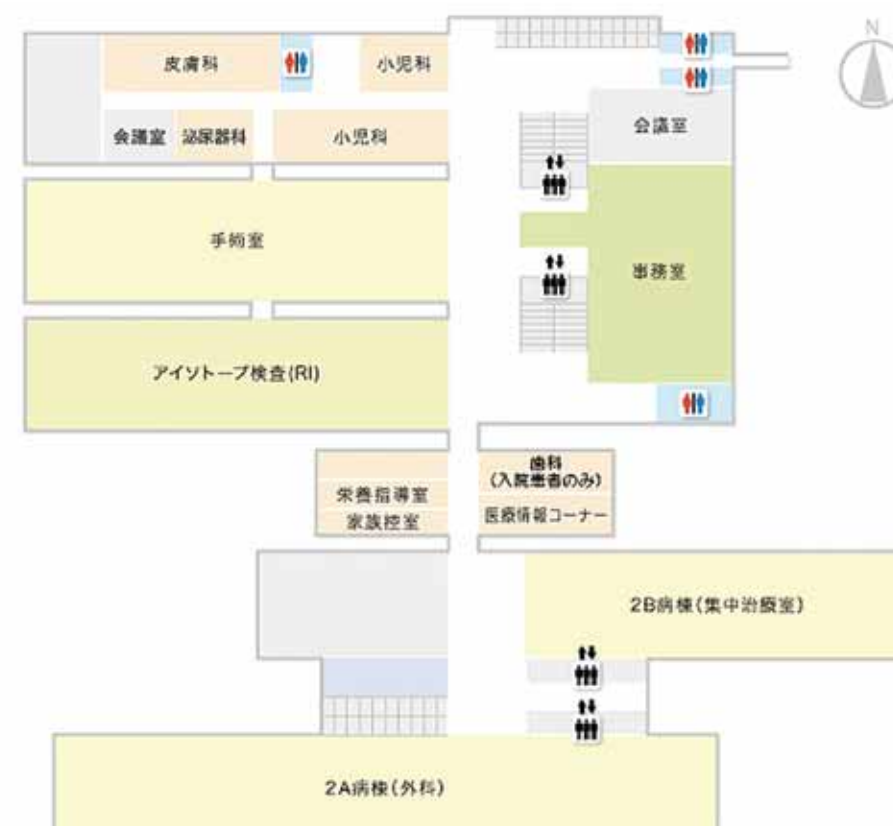
1. 個人として常にその人格を尊重される権利があります。
2. 社会的身分、人種、民族、信条、性別、障害があること等に関わらず、良質な医療を平等に受ける権利があります。通訳、点字等必要な補助をつけて説明を受ける権利があります。
3. 自分が受ける治療や検査の効果や危険性、他の治療方法の有無などについて、わかりやすい説明を理解できるまで受ける権利があります。
4. 自分の治療計画を立てる過程に参加し、自分の意見を表明し、自己決定する権利があります。希望しない医療を拒む権利があります。医療機関を選択し、転退院する権利があります。
5. 自分が受けている医療について知る権利があります。
6. 自分の情報を承諾なくして第三者に開示されない権利があります。

病院案内図

外来1階(管理診療棟)



外来2階(管理診療棟)



地域医療連携室のご案内

当センターでは、地域の医療機関の皆さまとの連携をスムーズに行うために、地域医療連携室を設置しています。地域の医療機関さまからの窓口として、紹介患者さんの受け入れ調整や、受診後の結果報告をはじめ、「開放病床」に関する業務などを行っております。患者さんをご紹介の際は地域医療連携室までご連絡ください。

●手話通訳が必要な方にも対応できます

●外国語通訳が必要な方は事前にご連絡ください

患者紹介・診療予約

TEL(直通): **072-957-8030** TEL(代表): **072-957-2121**
FAX : **072-957-8051** 受付時間: **9:00～17:30**



- 1 診療予約申込書と診療情報提供書を地域医療連携室へFAX送信してください。
FAXの場合、診療予約申込書をご利用ください。(診療予約申込書は巻末に掲載、HPからも利用できます。)
- 2 受診日時をFAXご連絡いたします。予約通知書をFAXいたします。
- 3 患者さんに予約通知書と紹介状をお渡しください。 ※患者さんのカルテと診察券は事前に作成いたします。
- 4 予約当日は予約時間の10分前に総合案内にお越しください。
※感染症内科受診の際は、直接感染症内科外来にお越しください。
- 5 患者さんが受診されたときは、紹介元医療機関に報告をいたします。

- 検査(CT、MRI、アイソトープなど)だけの予約も受けておりますのでご利用ください。
検査予約申込書(FAX専用用紙:41ページ)にてお申し込みください。

セカンドオピニオン

- 【対象診療科】呼吸器内科、肺腫瘍内科、呼吸器外科、感染症内科(結核)、消化器外科、乳腺外科、アレルギー・リウマチ内科
- 【内 容】現在、他の医療機関に受診(入院)中で、今のままの治療でよいのか、他に治療がないのかなど判断できずに困っている患者さん、ご家族(同意書が必要)が対象です。
- 【手 続 き】面談を希望される方は、現在治療を受けておられる医療機関から、当センターの**地域医療連携室**にお問い合わせください。診療資料に基づき、当センターの専門医があらかじめ検討を行います。面接は完全予約制ですので、日時が決定しましたら医療機関あてに連絡いたします。健康保険等の対象とはなりませんので、自費負担(1回当たり22,000円)となります。

開放病床のご利用

- 当センターでは、ご紹介いただきました患者さんに入院が必要な場合、開放病院のご利用ができます。
 - 紹介医と当センターとが共同して、より適切な医療を提供し、退院後が引き続き紹介診療所において治療をお願いするものです。事前に『登録医』として登録をお願いしております。ご利用および登録医申請の方法につきましては、**地域医療連携室**までお問い合わせください。
- 【開 放 病 床】5床
- 【対 象 診 療 科】病床をもつ全診療科
- 【入 院 期 間】3週間(21日)以内を原則としています。
- 【診 療 報 酬】開放型病院共同指導料(あらかじめ患者さんへの説明をお願いいたします。)

登録医(開放型病院共同指導料Ⅰ)

診察時(1日1回限り)350点

病院(開放型病院共同指導料Ⅱ)

診察時(1日1回限り)220点

オンライン予約システム「C@RNA Connect」

- 当センターでは、オンライン予約システムを導入しております。外来診療については全診療科、検査についてはCT単純撮影で予約対応しております。
- 貴院での診療の際に、直接インターネットで予約日を確認し、その場で予約が可能です。
※ご利用にあたっては、当センターホームページを参照の上お申し込みください。

はびきのメディカルネット

- 当センターでは、地域診療情報連携システムを導入しております。当センターへの紹介患者さんについて、患者さんの同意があれば、当センターでの診療情報(検査・処方・画像など)を、インターネット回線を利用して、閲覧していただくことができるものです。
- ご紹介患者さんの治療経過を容易に把握し、当センターからの逆紹介時にも切れ目なく医療を提供することができ、病診連携の一層の向上に資するものと考えております。
※ご登録にあたり説明および資料送付等を希望される場合、**地域医療連携室**までお問い合わせください。

入退院支援センター

※入退院支援に関するお問い合わせは、担当者または内線2466までお願いします。

- 当センターでは2020年4月より入退院支援センターを設置し、専門の看護師および社会福祉士が、入院前支援・退院支援・医療福祉相談を行っております。患者さんご家族が安心して入院治療が受けられ、退院後の生活を見据えた支援を行います。
- 入院前から情報収集した内容を、病棟および退院調整看護師と共有、他職種と共同して退院調整を行っております。入院中の患者さんが在宅へ帰られる際には、かかりつけ医・ケアマネジャー・訪問看護ステーションとの連携を行い、合同カンファレンスを実施しています。入院前から退院まで切れ目のない連携と支援の充実を目指しております。
※治療終了後には出来る限り、紹介元での診療を再開していただきます。
地域の医療機関さまには、何かとご無理をお願いする場合がありますが宜しくお願い致します。

問い合わせ
申し込み先

地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪はびきの医療センター 地域医療連携室
TEL:072-957-2121(代表)072-957-8030(直通)FAX:072-957-8051

※土・日・祝日・年末年始を除く 午前9時～午後5時30分

オンライン予約システム 「C@RNA Connect」の導入について

インターネットによる 診療・検査の予約が可能となりました!



2022年2月14日より、外来診療については全診療科、検査についてはCT単純撮影で予約対応しております。貴院様での診療の際に直接インターネットで予約日を確認し、その場で予約できます。ご利用にあたっては、ホームページを参照の上お申し込みくださいますようお願いいたします。



1 予約申し込みに“インターネット”を利用します。

2 24時間365日いつでも簡単に予約ができます。

3 診療所様は“無料”でご利用頂けます。*ご加入が必要です。

4 案内状や情報提供書をプリントアウトできます。

予約カレンダーで『空き状況』がひと目でわかります。必要事項の入力をし、予約完了!患者さんをお待たせすることなく予約票のお渡しまでができます。

The screenshot shows the C@RNA Connect online reservation system interface. It includes a header with the system name and a sidebar with various medical departments. The main area displays a calendar for March 2022, with a specific date (March 16th) highlighted. Below the calendar, there is a table showing the availability of the system for different dates and times.

その他の取り組み

① 地域医療支援病院

令和3年3月10日付けで、当センターは大阪府より「地域医療支援病院」として承認されました。その機能としては、紹介患者に対する医療提供、医療機器等の共同利用の実施をはじめ、救急医療の提供や地域の医療従事者に対する研修の実施を通じて、第一線の地域医療を担うかかりつけ医等を支援し、地域医療の確保を図ることが求められています。

令和3年度は、多数の医療機関より患者さんをご紹介いただき、急性期医療・専門医療を提供しました。また、近隣医師会会長等から成る地域医療支援病院運営委員会を4回開催し、地域の皆様のご意見を頂きながら地域医療の充実に努めてまいりました。

今後も地域の医療機関との緊密な連携を図り、地域医療支援病院として医療の質向上に努めてまいります。

② 大阪府アレルギー疾患医療拠点病院

平成30年6月1日付けで、当センターは大阪府より「大阪府アレルギー疾患医療拠点病院」に指定されました。

拠点病院は、アレルギー疾患対策基本法に基づき、府民が居住する地域に関わらず、等しくそのアレルギーの状態に応じて適切なアレルギー疾患医療を受けることができるよう、アレルギー疾患医療の拠点となることが求められています。

今後も、地域の多くの職種の方々と協働して、より一層の府内アレルギー診療の充実等に向けて取り組んでいきます。

当センターの取り組み

- アレルギー疾患の診療経験が豊富なアレルギー・リウマチ内科、小児科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉・頭頸部外科領域の専門的な知識と技能を有する医師を常勤で配置し、重症及び難治性アレルギー疾患の患者に対し、関係する複数の診療科が連携して診断、治療、管理を実施
- 府民や地域の医療機関に対して、講演会・パンフレット・ホームページなどを通じて、アレルギー疾患に関する適切な情報を提供し啓発活動を実施
- アレルギー疾患医療に携わる医療従事者や学校、児童福祉施設などの職員に対する研修や講習を実施し、積極的に人材育成に関与
- アレルギー疾患の予防や患者のQOLの向上を目指して臨床研究を実施

外来診察担当医師表

2022 年 6 月 1 日水曜日現在

			月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
呼吸器内科	午前	1 診	※田村香(初)	馬越(初)	松岡(初)	森泉(初)	森下裕(初)
		2 診	森下裕	柳瀬	－	※田村香	枝廣
		3 診	－	松岡	馬越	松岡	※田村香
		4 診	－	－	－	－	－
	午後	1 診	※田村香(初)	馬越(初)	松岡(初)	－	森下裕(初)
		2 診	森下裕	柳瀬	－	－	－
		3 診	－	松岡	馬越	松岡	※田村香
		4 診	－	－	－	－	－

感染症内科	午前	感染症センター	仮屋(初)	永井崇(初)	※韓(初)	橋本(初)	田村嘉(初)
	午後		仮屋(初)	永井崇(初)	※韓(初)	橋本(初)	田村嘉(初)
	午前	4 診	—	—	橋本	※韓	—
		5 診	永井崇	※韓	田村嘉	田村嘉	永井崇
	午後	4 診	—	—	橋本	仮屋	—
		5 診	永井崇	※韓	田村嘉	田村嘉	永井崇
備考欄		4診・5診は、管理診療棟(本館)1階 呼吸器内科にて診察いたします。					

アレルギー・ リウマチ内科	午前	1 診	源(初)	森田(初)	原(初)	松野(初)	松野(初)
		2 診	緒方	源	松野	石田	※久保田
		3 診	－	－	緒方	－	－
	午後	1 診	源	－	－	－	松野(初)
		2 診	緒方	源	松野	石田	※久保田
		3 診	－	－	緒方	－	－
備考欄		森田医師の診察時間は、9:30～12:00となります。(受付は通常通り8:45～11:00可能です) 原医師の診察時間は、9:00～11:00となります。					

整形外科	午前	アレルギー・ リウマチ内科 3 診	塚本	谷内	－	塚本	担当医
	午後		－	－	－	－	－

肺腫瘍内科	午前	1 診	－	※刀祢	鈴木(初)	松本(初)	※森下直(初)
		2 診	鈴木	－	※森下直	鈴木	岡田
		3 診	－	－	－	－	佐藤
		4 診	－	－	－	－	－
	午後	1 診	－	－	鈴木(初)	松本(初)	※森下直(初)
		2 診	鈴木	－	※森下直	鈴木	－
		3 診	－	－	－	－	佐藤
		4 診	－	－	－	－	－
備考欄		肺腫瘍内科は、完全予約制です。かかりつけ医から事前の診察予約をお取りください。第1金曜日の1診は午前のみとなります。					

循環器内科	午前	1 診	江角	江角	三好	－	江角
		2 診	原田	－	井内	原田	井内
	午後	1 診	－	－	－	－	－
		2 診	原田	－	井内	原田	井内
備考欄		ペースメーカー外来は、第2・第4木曜日の月2回です。金曜日2診は不整脈外来です。					

消化器内科	午前	1 診	木積	※今村	佐々木	滋野	福本
	午後	1 診	－	－	－	－	－

頭頸部外科 耳鼻咽喉・	午前	1 診	※花田(初)	林	※川島(初)	※奥野(初)	小幡(初)
		2 診	※川島	※奥野	河辺	※花田	※花田
		3 診	河辺	－	※奥野	－	※川島
	午後	1 診	－	－	－	－	－
		2 診	河辺(検査)	－	※奥野(検査)	※花田(検査)	－
		3 診	－	－	－	－	－
備考欄		(火)奥野医師・(金)※花田医師の診察時間は、10:00～12:00となります。(受付は通常通り8:45～11:00可能です。)					

眼科	午前	1 診	－	検査	検査	－	－
		2 診	藤野 / (代) 安藤・北尾			井上	白木
	午後	1 診	－			－	－
		2 診	－			－	－
備考欄		初診/再診の受付時間は9:00～10:30までとなります。					

ご案内 初診／予約なしの方は、受付時間 8:45～11:00 までとなっております。

地域の医療機関から当センターの地域医療連携室を通して予約して頂きますと待ち時間が短縮できます。

			月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
呼吸器外科	午前	1 診	－	北原(初)	－	門田(初)	門田(初)
		2 診	－	安藤	－	杉浦	福山
		3 診	(担当医)(初)	－	(担当医)(初)	担当医	－
	午後	1 診	－	北原	－	門田	門田
		2 診	－	安藤	－	杉浦	福山
		3 診	(担当医)	－	(担当医)	担当医	－
備考欄		月～木曜日まで手術日です。常時緊急対応ができる医師がいます。					

消化器外科	午前	1 診	宮崎	－	野間	－	酒田
		2 診	池田	－	－	－	－
	午後	1 診	宮崎	－	－	－	酒田
		2 診	※西	－	－	－	－
備考欄		火・木曜日は手術日の為、外来診療を行っておりません。					

乳腺外科	午前	1 診	安積	－	安積	－	新崎
		2 診	(担当医)	－	(担当医)	－	－
	午後	1 診	安積	－	安積	－	新崎
		2 診	(担当医)	－	(担当医)	－	－
備考欄		乳腺・甲状腺を診察しています。乳がん検診は羽曳野市の検診のみです。火・木曜日は手術日の為、外来診療を行っておりません。					

皮膚科	午前	1 診	※片岡(予)	※坂本	※片岡(予)	完全予約制	※坂本(予)
		2 診	※益田	※阿古目(予)	※益田(予)		※木村
		3 診	※阿古目(初)	※片岡(初)	※坂本(初)		※益田(初)
		4 診	－	※木村(予診)	※阿古目	井庭(予+初(乳児のみ))	－
	午後	1 診	※片岡(予)	※坂本(予)	※片岡(予)	完全予約制	－
		2 診	※益田	※阿古目(予)	※益田(予)		※木村
		3 診	－	※片岡(初)	－		※益田(初)
		4 診	※坂本(予)	※木村(予診)	※阿古目		－
備考欄	初診の対象を紹介状をお持ちの患者様のみとさせて頂いております。予約をとれるのは、月・火・水曜日のみとなります。 火曜日4診(予診)では、初診の間診を行っております。木曜日は完全予約制ですが、乳児のみ初診受付しています。						

小児科	午前	1 診	※高岡	深澤	亀田	亀田	吉田
		2 診	釣永	※九門	重川	吉田	深澤
		3 診	担当医 (初)	亀田 (初)(予診: 担当医)	担当医 (初)	担当医 (初)	担当医 (初)
		4 診	－	－	－	－	－
	午後	1 診	※高岡	－	亀田	亀田	吉田
		2 診	釣永	－	重川	深澤	山口
		3 診	※上野	－	山手	重川	※高岡
		4 診	中竹	－	小児循環器 / ※高岡	山口	担当医
備考欄	3診午前: (月) 第1・5 吉田医師 (火) 第1・3・5 山手医師 (水) 第1・3・5 釣永医師 (木) 第1・3・5 重川医師 (金) 第1・5 高岡医師 担当医 第2・4 中竹医師 第2・4 ※大野医師 第2・4 山口医師 第2・4 深澤医師 第2・4 九門医師 第3 上野医師						
	4診午後: (水) 第1・3・5 小児循環器外来です。(担当医制) (金) 第1・3・5 上野医師 担当医 第2・4 高岡医師 第2・4 九門医師						

産婦人科	午前	1 診	赤田(初)	安川(初)	赤田(初)	安川(初)産科	小川(初)
		2 診	小川	西川	※岩井	赤田(初)婦人科	安川
		3 診	安川	脇	中野	西川	赤田
		4 診	－	－	－	－	－
	午後	1 診	赤田(婦人科)	安川	－	－	小川
		2 診	坂元	－	小川	－	－
		3 診	安川(産科)	脇	中野	－	－
備考欄		水曜日のみ、女性医師がいます。					

泌尿器科	午前	1 診	福井	栗林	山口	大草	辻村
	午後	1 診	－	－	－	－	－

禁煙外来	午後	肺腫瘍内科 5 診	－	橋本(予)	－	－	－
備考欄		火曜日のみ、予約制です。					

【医療機関の皆さまへ】 医療機関からの紹介患者様は、予約枠が異なりますので、地域医療連携室へお問い合わせください。
地域連携室 受付時間 平日 9:00～17:30 ☎072-957-8030(地域直通) FAX072-957-8051
〒583-8588 大阪府羽曳野市はびきの3-7-1 ☎072-957-2121(代)

(初)…初めて受診の方のみ (予)…予約診療の方のみ ※…女性医師

診療科一覧

部門	診療科	診療内容
呼吸器医療部門	呼吸器内科	慢性閉塞性肺疾患や急性呼吸不全など幅広い呼吸器疾患の診療を行っています。
	肺腫瘍内科	肺がんの早期診断から内科的治療、緩和医療に至るまで一貫した診療を行っています。
	呼吸器外科	肺がんをはじめ、結核・気胸など胸部疾患手術に対応しています。
	リハビリテーション科	急性期から慢性安定期のリハビリテーションを実施しています。
感染症医療部門	感染症内科	結核や非結核性抗酸菌症などの感染症を専門としています。
アレルギー医療部門	アレルギー・リウマチ内科	気管支喘息などのアレルギー疾患、リウマチ・膠原病などの自己免疫疾患の診療を行っています。
	小児科	小児のアレルギー疾患、呼吸器疾患などを専門とし、一般小児疾患にも広く対応しています。
	皮膚科	アレルギー性皮膚疾患、アレルギー以外の皮膚疾患ともに、重症・難治性皮膚疾患の専門医療を行っています。
	眼科	現在非常勤医のみで、白内障、緑内障等の眼科一般診療を実施しています。
	耳鼻咽喉・頭頸部外科	耳鼻咽喉科領域のアレルギー疾患の専門的治療と耳鼻咽喉科頭頸部外科一般の検査、治療、手術を行います。
一般医療部門	循環器内科	虚血性心疾患をはじめ、循環器疾患全般にわたる診療をしています。
	消化器内科	消化器系の悪性疾患をはじめ、消化器疾患全般にわたる診療を行っています。
	消化器外科	胃癌、大腸癌等の悪性疾患、胆石等の良性疾患、ヘルニア等の一般外科疾患の診療を行っています。
	乳腺外科	乳がんの標準治療（外科治療、薬物療法、放射線治療）、乳がん再発治療を行っています。
	産婦人科	分娩から婦人科悪性腫瘍まであらゆる産婦人科疾患を対象としています。
	泌尿器科	泌尿器科領域の悪性疾患や排尿障害、尿路結石など、あらゆる疾患に対応しています。
	整形外科	変形性関節症・骨粗鬆症を中心とした高齢者の治療を行っています。

部門	診療科	診療内容
中央診療部門	麻酔科	各種呼吸器疾患合併患者をはじめ、重症の低肺機能患者の周術期管理にも対応します。
	集中治療科	急性の呼吸不全や循環不全に対する高度な呼吸管理と専門医療を行っています。
	放射線科	CT、MRI や核医学などの画像診断、IVR（画像ガイド下の治療）および放射線治療を行っています。
	外来化学療法科	外来で抗がん剤治療を行い、日常生活との両立をめざしています。
	呼吸器内視鏡内科	最新の機器による高精度での確な診断と治療を行っています。
	臨床検査科	各種検査を行い、迅速に正確な検査結果を報告し、的確な診断・治療を支えています。
研究部門	病理診断科	迅速、高精度な病理診断を行って当センターの診療を支えています。
	救急診療科	呼吸器疾患をはじめ急性腹症、循環器疾患など幅広い救急初期診療を提供しています。
	臨床研究センター	新しい診断治療法の研究・開発により、医学の発展及び人材育成を目指しています。
	次世代創薬創生センター	臨床の現場から、次世代の診断・薬剤・治療法のシーズを見出すことを目指しています。

学会・施設認定等

WAO center of excellence／日本内科学会認定医制度教育関連病院
日本外科学会外科専門医制度修練施設／日本呼吸器学会内科系外科系指導施設／日本呼吸器学会認定施設
日本臨床腫瘍学会認定研修施設／日本がん治療認定医機構認定研修施設／日本呼吸器外科学会指導医制度認定施設
日本胸部外科学会認定医認定制度指定施設／日本アレルギー学会アレルギー専門医教育研修施設／日本リウマチ学会教育施設
日本皮膚科学会認定専門医研修施設／日本小児科学会専門医研修施設／日本眼科学会専門医制度研修施設
日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会専門医研修施設／日本鼻科学会鼻科手術認可研修施設
日本気管食道科学会認定専門医研修施設（咽喉系）／日本感染症学会認定研修施設／日本循環器学会認定専門医研修関連施設
日本産科婦人科学会専門医制度専攻医指導施設／日本消化器外科学会修練関連施設／日本乳癌学会認定施設
日本乳房オンコプラステックサージャリー学会／エキスパンダー実施施設、インプラント実施施設
日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関／日本麻酔科学会麻酔科認定病院／日本病理学会登録施設
日本臨床細胞学会教育研修施設／日本医療薬学会がん専門薬剤師研修施設／日本医療薬学会医療薬学専門薬剤師研修施設
日本緩和医療薬学会緩和医療専門薬剤師研修施設／薬学生実務実習受入施設／認定臨床微生物検査技師研修施設
日本超音波医学会認定超音波専門医研修連携施設／日本呼吸療法医学会認定呼吸療法専門医研修施設
大阪府地域医療支援病院／大阪府がん診療拠点病院（肺がん）／大阪府アレルギー疾患医療拠点病院／エイズ治療拠点病院
日本医療機能評価機構病院機能評価認定病院／日本臨床栄養代謝学会認定NST稼動施設

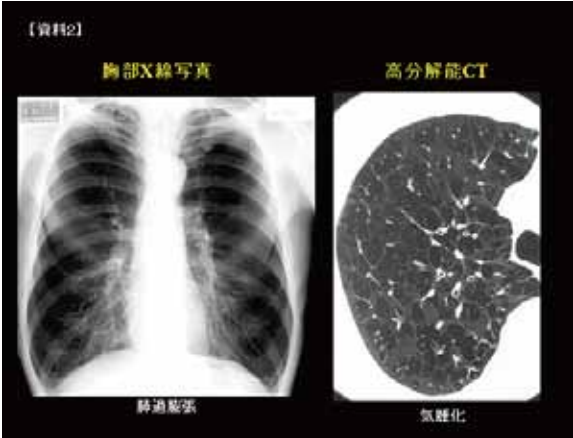
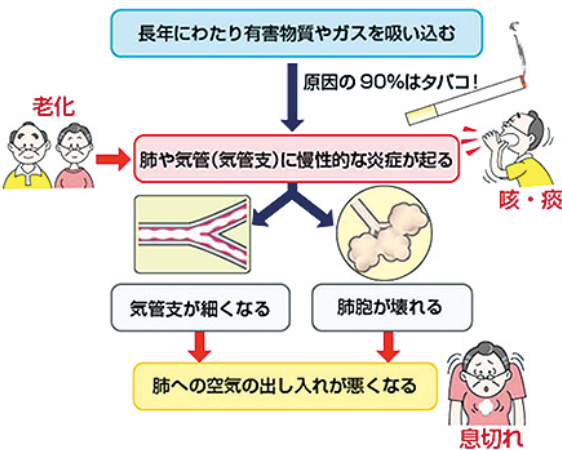
呼吸器内科



慢性閉塞性肺疾患、間質性肺炎を中心とした呼吸器疾患の治療

診療の特色

- 慢性閉塞性肺疾患（COPD）、間質性肺炎をはじめとするびまん性肺疾患、肺感染症、睡眠時無呼吸症候群など様々な疾患の診断と治療を行っています。さらにそれらの疾患に対し、必要時に呼吸リハビリテーションの実施を行ったり、集中治療科（ICU）での集中治療を行うなど、包括的、全人的呼吸ケアの実践をしています。



- 在宅酸素療法、非侵襲的陽圧換気療法、CPAP を行っている多くの患者さんの診断・治療を行っています。外来においては、呼吸器看護専門外来を併設し、専門性の高い看護師によるセルフマネジメント支援や地域の医療従事者との連携により患者さんの QOL 向上をめざしています。
- COPD 教育入院（2 泊 3 日）、酸素流量調整入院（1 週間）、CPAP 導入入院（2 泊 3 日）を行っています。地域医療連携室で予約を賜っております。
- 身体障害者福祉法に基づく呼吸機能障害や特定疾患（呼吸器疾患）の申請を行っています。

主要検査

・画像検査・呼吸機能検査・呼吸器内視鏡検査（気管支鏡検査）・終夜睡眠ポリグラフィー

主な診療実績（令和 3 年度 実入院患者数：799 人）

間質性肺炎：166 人 / 肺炎、肺化膿症：156 人 / 慢性閉塞性肺疾患（COPD）：68 人
睡眠時無呼吸症候群：69 人 / 肺がん：19 人 / 気管支喘息、気管支拡張症：22 人
結核、肺非結核性抗酸菌症：22 人 / 気胸：16 人 他
在宅酸素療法：249 名 / 在宅人工呼吸法：16 名 / CPAP：104 名

スタッフ紹介

医師名	職 名	認定医・専門医・指導医
松岡 洋人 まつおか ひろと	主任部長、呼吸器研究室室長 呼吸ケアセンター長	日本内科学会総合内科専門医・指導医、日本呼吸器学会専門医・指導医
森下 裕 もりした ひろし	リハビリテーション科主任部長	日本内科学会認定医、日本呼吸器学会専門医、日本医師会認定産業医
馬越 泰生 うまこし たいせい	医長	日本内科学会総合内科専門医
田村 香菜子 たむら かなこ	医長	日本内科学会総合内科専門医、日本呼吸器学会専門医
樋口 貴俊 ひぐち たかし	医員	緩和ケア研修終了
小牟田 清英 こむた きよひで	医員	

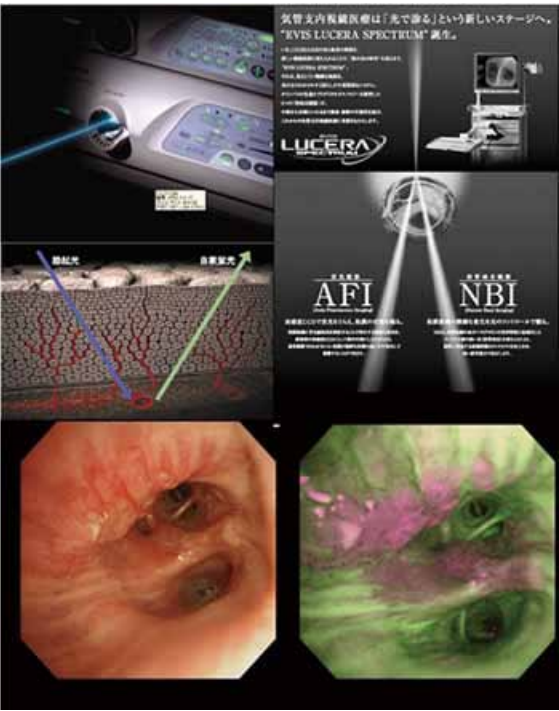
肺腫瘍内科



肺がんの早期診断と最新の抗がん化学療法を実施

診療の特色

- 肺がん、悪性胸膜中皮腫などの胸部悪性腫瘍を中心に診断、治療、緩和ケアまで一貫して実施。
- 外来化学療法科と連携して、外来での抗がん剤治療を実施。
- 専門性の高い看護師、薬剤師等とのチーム医療でがんに伴う種々の症状緩和など、高いQOLの維持をめざす。
- 地域の在宅往診可能な医師と連携して、緩和ケアがシームレスで行われるよう取り組みを推進。



蛍光気管支鏡による細胞診



気管支腔内超音波断層法（EBUS）

主な診療実績（令和 3 年度 実入院患者数：905 人）

肺がん：774 人 / その他悪性腫瘍：21 人 他

外来化学療法件数

平成 29 年度 1,760 人 / 平成 30 年度 1,861 人 / 令和元年度 1,620 人
令和 2 年度 1,587 人 / 令和 3 年度 1,410 人

スタッフ紹介

医師名	職 名	認定医・専門医・指導医
鈴木 秀和 すずき ひでかず	主任部長、外来化学療法科 主任部長	日本内科学会認定内科医、日本内科学会総合内科専門医、 日本がん治療認定医機構がん治療認定医、日本呼吸器学会専門医・指導医、 日本呼吸器内視鏡学会専門医、緩和ケア研修終了
森下 直子 もりした なおこ	外来化学療法科副部長	日本内科学会認定内科医、日本呼吸器学会専門医、日本呼吸器内視鏡学会専門医、 緩和ケア研修終了
佐藤 真吾 さとう しんご	診療主任	日本内科学会認定内科医、日本呼吸器学会専門医
柳瀬 隆文 やなせ たかふみ	医員	緩和ケア研修終了
岡部 福子 おかべ ふくこ	医員	緩和ケア研修終了

呼吸器外科



肺がん、中皮腫から気胸まで肺と縦隔の手術を実施

診療の特色

- 呼吸器外科および胸部外科指導施設。
- 肺、縦隔の疾患に対して、年間 300 例を超える手術を実施し、胸腔鏡下手術による低侵襲な外科治療を施行。
- 肺腫瘍内科・放射線治療科と連携し、集学的肺癌治療を実施。
- 低肺機能・合併症併存症例に対する肺機能を温存する外科の治療を実施。

肺がん 当院では多く低侵襲な治療として胸腔鏡下手術による治療を実施しています。また近年、画像診断の進歩により早期肺癌の発見例が増えています。当院では詳細な画像診断による詳細な評価をもとに、小径の早期肺癌に対して、根治性を担保した肺機能温存を目的とした縮小手術(区域切除や肺部分切除)を積極的に行っています。また、肺門部肺癌や局所進行癌に対しては、肺腫瘍内科、放射線治療科と連携した抗癌剤治療・放射線治療を組み合わせ治療を行います。進行癌に対しても積極的に外科治療に取り組んでいます。病状にあわせて治療法・術式の個別化を進めています。



縦隔疾患 当院では縦隔腫瘍に対しても低侵襲手術を行っています。胸腺腫に対する胸腔鏡下手術では、CO₂送気を用いた人工気胸下の胸腺摘出術を施行しています。また進行病期例に対しては根治を目的とした集学的治療および開胸手術をおこないます。

気胸・肺嚢胞 当院では、青年期の男性に多く見られる気胸(原発性気胸)のみでなく、肺気腫や間質性肺炎など中高年に多い呼吸器基礎疾患に由来する気胸(続発性気胸)に対しても積極的に外科治療を行っています。気胸センターを開設し、内科的治療・外科的治療による多様な病状への対応を行っています。

他の疾患 胸腺摘除を要する重症筋無力症に対して、胸腔鏡下の拡大胸腺摘除術を行っています。炎症性肺疾患に対して、内科による病状評価及び治療の上、外科治療を行っています。肺感染症(結核、肺真菌症)や慢性膿胸に対しても肺機能を温存する手術を実施しています。良性肺腫瘍の治療及び肺生検は、主に内視鏡下に行っています。気管・気管支狭窄に対する、ステント留置術

主な診療実績(令和3年度 実入院患者数：383人)

肺がん：154人 / 気胸：78人 / 炎症性肺疾患：38人 / 縦隔腫瘍：13人 他

スタッフ紹介

医師名		職名	認定医・専門医・指導医
門田 嘉久	かだた よしひさ	主任部長 気胸センター長	日本外科学会専門医・指導医、日本胸部外科学会認定医、日本呼吸器外科学会専門医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、がんリハビリテーション研修修了、大阪大学医学部臨床教授
北原 直人	きたはら なおと	副部長	日本外科学会専門医、日本呼吸器外科学会専門医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医
杉浦 裕典	すぎうら ゆうすけ	医員	緩和ケア研修修了
安藤 紘史郎	あんどう こうしろう	医員	緩和ケア研修修了
福山 馨	ふくやま かおる	医員	緩和ケア研修修了
上山 廉起	うえやま きよき	レジデント	

リハビリテーション科



急性期から慢性安定期のリハビリテーションを実施

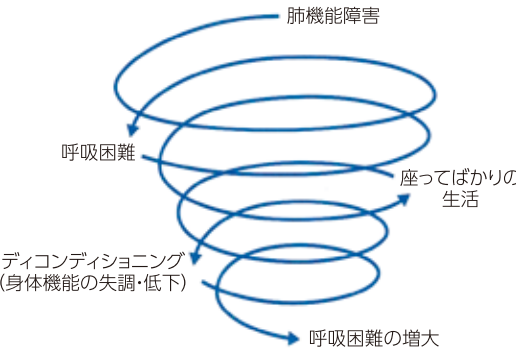
診療の特色

- 呼吸リハビリテーション
入院患者を対象として、主に①運動時の評価、必要酸素吸入量の設定、②病態に合わせた呼吸法や呼吸困難感を緩和できる日常生活動作方法の指導、③適切な運動負荷の設定や運動の処方など、を提供。
- 摂食・嚥下リハビリテーション
入院患者を対象として、嚥下内視鏡検査、嚥下造影検査を用いた詳細な評価と言語聴覚士による治療介入を実施。また、耳鼻科医師・歯科医師・看護師・薬剤師・言語聴覚士等によって構成された嚥下サポートチームによる回診を実施。

※令和3年度よりがんリハビリテーションを開始

主な対象患者

- 肺気腫などの慢性閉塞性肺疾患(COPD)、間質性肺炎、結核後遺症などの安定期慢性、呼吸不全患者、および急性増悪後の患者
- 気管支喘息などのアレルギー性呼吸器疾患患者
- 肺癌などの胸部手術の術前・術後患者
- 結核、肺炎などの感染性疾患患者
- ARDS、重症肺炎などの急性呼吸器不全の患者(人工呼吸器装着患者)



呼吸困難による障害発生のをせん

「呼吸リハビリテーションマニュアル
ー運動療法ー第2版」より引用

主な診療実績(令和3年度)

呼吸器リハビリテーション：13,986件 / 廃用症候群リハビリテーション：705件
がん患者リハビリテーション：213件 / 心大血管疾患リハビリテーション：71件 / 摂食機能療法：2,011件

一般的な呼吸リハビリテーションプログラム

- 呼吸訓練(口すぼめ呼吸、横隔膜呼吸など) ● 呼吸筋トレーニング
- 胸郭可動域訓練・ストレッチング、呼吸筋ストレッチ ● 運動療法(筋力、運動耐容能)
- 患者教育・動作要領の指導 ● ADLトレーニング ● 排痰法の習得

スタッフ紹介

医師名		職名	認定医・専門医・指導医
森下 裕	もりした ひろし	主任部長	日本内科学会認定医、日本呼吸器学会専門医、日本医師会認定産業医
李 仁洙	り いんず	理学療法士	3学会合同呼吸療法認定士
中原 千里	なかはら ちさと	理学療法士	
茨木 茉唯	いばらぎ まい	理学療法士	
中川 勇希	なかがわ ゆうき	作業療法士	福祉住環境コーディネーター2級
大黒 大輔	おおくろ だいすけ	言語聴覚士	日本言語聴覚士協会 認定言語聴覚士(摂食嚥下領域)

感染症内科



結核は過去の病気ではありません

診療の特色

- 主な対象疾患…結核、非結核性抗酸菌症（非定型抗酸菌症）ならびに結核後遺症としてよく見られる肺アスペルギルス症等。
- 入院患者全員を対象に看護師による対面服薬確認ならびに結核に関する勉強会（院内 DOTS）を実施。
- 通院可能となった患者は、院内 DOTS カンファレンスで治療終了時期を決定し、保健所と協力して退院後の服薬支援を実施。
- 院内 DOTS 並びに院内 DOTS カンファレンスへは、全国の保健所や病院から見学に来られる等、当センターの結核治療向上への取組は高く評価されています。
- 感染症内科外来は、一般外来とは別棟の「感染症センター」で診療を実施。
- 結核疑い患者は、診断が確定するまでは陰圧換気個室に入院。
- 感染症内科外来ならびに感染症病棟には高換気機器や空気殺菌器を設置し、感染症内科外来に排菌患者専用の待合室を設ける等、院内感染防止対策を徹底。

結核菌検査

核酸増幅法検査、液体培地法、迅速薬剤感受性試験法など最新の結核菌検査方法を導入し、喀痰塗抹陽性の90%以上は30日以内に結核菌の検出・同定並びに薬剤感受性試験成績の報告が可能。塗抹陽性検体に関しては、治療方針の根幹に関わるRFP(リファンピシン)の耐性遺伝子変異を迅速にチェックしています。

主な診療実績(令和3年度 実入院患者数：440人)

肺結核、結核性胸膜炎など：171人 / コロナウイルス感染症：107人
肺非結核性抗酸菌症：48人 / 肺アスペルギルス症：17人 他

地域への啓発活動

- 【DOTSカンファレンス】 保健所スタッフ、MSWも参加し、対面服薬確認治療について会議を行っています。
- 【結核勉強会】 退院後の生活を見据えて指導を行っています。



その他

- すぐに入院が必要な患者さんについては、感染症外来へ直接ご連絡ください。
- 排菌している(疑いのある)患者さんには、来院時マスクの着用のご指導をお願いします。

スタッフ紹介

医師名	職名	認定医・専門医・指導医
永井 崇之 ながい たかゆき	主任部長	日本感染症学会推薦 ICD
韓 由紀 はん ゆき	副部長	結核・抗酸菌症指導医
北島 平太 きたじま へいた	医員	日本内科学会認定医、日本エイズ学会認定医
仮屋 勇希 かりや ゆうき	医員	
橋本 章司 はしもと しょうじ	臨床研究センター長	日本感染症学会推薦 ICD、日本内科学会総合内科専門医、日本呼吸器学会呼吸器専門医、日本アレルギー学会アレルギー専門医、日本感染症学会専門医・指導医、日本結核・非結核性抗酸菌症学会結核・抗酸菌症指導医、日本臨床研修協議会プログラム責任者
田村 嘉孝 たむら よしたか	臨床検査科主任部長 感染症センター長	日本結核・非結核性抗酸菌症学会結核・抗酸菌症指導医

アレルギー・リウマチ内科



気管支喘息や関節リウマチなどの免疫関連疾患の最先端医療

診療の特色

- 喘息を中心としたアレルギー疾患の内科的な診療を行うとともに、関節リウマチの診療に注力。
最近 10 年間で、これらの疾患の治療は大きく変化して、対症療法から、炎症を制御する本質的な治療に変化。
特に抗体製剤などの分子標的薬は、ステロイドのように広範囲に作用する薬剤と異なって、疾患の原因となっている。
標的に特異的に作用することで、副作用の少ない有効な薬剤であることが期待。私たちは、この大きな流れに沿って、最先端の知識や技術を取り入れて、適切に治療を実施。
平成 28 年から、喘息の新たな治療法として気管支鏡を用いて治療する気管支サーモプラスティを開始。
既存の治療でコントロールの難しい患者さんがよい適応。
- 令和 3 年度から、新たに 2 名のリウマチ学会専門医が赴任。
※化学物質過敏症には対応していません。
※当科で診療をご希望の方は、紹介状が必要になりますのでご注意ください。

主な設備

- 胸部レントゲン検査、胸部CT検査、気管支鏡検査
- 精密肺機能検査、モストグラフを用いた気道抵抗の測定
- 各種アレルギー検査、各種カビ抗体の測定、呼気NOの測定

主な診療実績(令和3年度 実入院患者数：216人)

コロナウイルス感染症：64人 / 気管支喘息、咳喘息：27人
関節リウマチ、膠原病：38人 / アナフィラキシーショック：33人 他

スタッフ紹介

医師名	職名	認定医・専門医・指導医
源 誠二郎 みなもと せいじろう	主任部長	日本内科学会認定医、日本アレルギー学会専門医・指導医、日本内科学会総合内科専門医、日本呼吸器学会専門医・指導医、日本リウマチ学会専門医、日本呼吸器内視鏡学会専門医・指導医
松野 治 まつの おさむ	部長	日本内科学会総合内科専門医、日本呼吸器学会専門医・指導医、日本アレルギー学会専門医・指導医
石田 裕 いしだ ゆたか	診療主任	日本内科学会認定内科医、日本リウマチ学会専門医、緩和ケア研修修了
緒方 篤 おがた あつし	副院長	日本内科学会認定医・総合内科専門医、日本リウマチ学会専門医・指導医、日本リウマチ財団登録医、難病指定医、日本臨床免疫学会免疫療法認定医、日本医師会認定産業医、緩和ケア研修修了、臨床研修プログラム責任者養成講習会修了

アズマネットワーク

〈Habikino Asthma Network〉

近隣の先生や患者さんを紹介させていただいた先生を対象に行っている喘息の勉強会です。年 1 回行っています。多くの先生方と共に喘息の勉強をすることで、喘息診療のレベルアップを目指しています。

〈大阪アズマネットワーク〉

薬剤師を対象とした吸入指導法の勉強会です。近隣の薬剤師会の協力を得て、年 2 回行っています。喘息治療で最も大切な吸入ステロイドを患者さんが正しく使えるようにするために支援しています。吸入指導法だけでなく、喘息やCOPD などの病気についても勉強しています。最近「大阪吸入指導マイスター制度」を立ち上げて、一定基準のレベルに達した薬剤師をマイスターとして認定して当科の外来で案内しています。



小児科



小児のアレルギー・呼吸器疾患の専門治療、一般小児疾患にも広く対応

診療の特色

- 気管支喘息（特に難治性喘息）などの呼吸器疾患の総合治療を実施。
- 食物アレルギーの治療に力を入れており食物経口負荷テスト、経口免疫療法を積極的に実施。
- 心理的な側面が大きく関与するケースには、臨床心理士が治療に参加。
- 病棟保育士により幼児の入院に対応。
- 地域連携を図り、一般小児科疾患の入院にも可能な限り対応。
- 小児結核の治療、結核家族検診（小児）を実施。
- 敷地内に小・中学校（大阪府立羽曳野支援学校）があり、入院中の教育も可能。
- 新生児は NICU（3 床）を併設。またレスパイト入院を実施。
- 小児循環器外来を行っています。（詳しくは地域医療連携室にお尋ねください。）

主要検査

- アレルギー検査（皮膚テスト、特異 IgE 抗体測定、食物経口負荷テスト）
- 呼吸機能検査、運動誘発検査、気道過敏性検査、呼気中 NO 測定、胃食道逆流症検査、CT、MRI
- ACTH 負荷副腎皮質予備能検査

主な診療実績（令和 3 年度 実入院患者数：1,788 人）

食物アレルギー：1,082 人 / 気管支喘息：89 人 / 肺炎、気管支炎：91 人
新生児疾患・先天性疾患：321 人 / その他：206 人

その他

- 病診連携を目的に南大阪小児アレルギーカンファレンスと柏羽藤小児臨床懇話会を開催。
- 小児アレルギー疾患に精通した小児アレルギーエデュケーター（看護師、薬剤師、管理栄養士）が在籍。

スタッフ紹介

医師名		職 名	認定医・専門医・指導医
亀田 誠	かめだ まこと	主任部長	日本小児科学会専門医・指導医、日本アレルギー学会専門医
吉田 之範	よしだ ゆきのり	部長	日本小児科学会専門医・指導医、日本アレルギー学会専門医・指導医
高岡 有理	たかおか ゆり	副部長	日本小児科学会専門医・指導医、日本アレルギー学会専門医・指導医、日本医師会認定産業医
重川 周	しげかわ あまね	医長	日本小児科学会専門医
深澤 陽平	ふかさわ ようへい	医長	日本小児科学会専門医・指導医
釣永 雄希	つりなが ゆうき	医長	日本小児科学会専門医、日本アレルギー学会専門医、日本小児感染症学会小児感染症認定医、日本結核・非結核性抗酸菌症学会結核・抗酸菌症指導医、日本周産期・新生児医学会新生児蘇生法「専門」コース（A コース）修了
上野 瑠美	うえの るみ	診療主任	
山口 智裕	やまぐち ともひろ	レジデント	小児科専門医
九門 順子	くもん じゅんこ	レジデント	
中竹 俊伸	なかたけ としのぶ	レジデント	小児科専門医
山手 和智	やまて かずとも	レジデント	
大野 由梨	おおの ゆり	レジデント	

〈小児アレルギーエデュケーター（PAE）による講習会〉 小児アレルギーエデュケーターとは、アレルギーに対する専門的な知識と技術を有すると学会認定されたメディカルスタッフです。現在当センターには11名（看護師9名、管理栄養士1名、薬剤師1名）が在籍しています。平成24年ころより地域の学校、保育所、保健所、消防署等から依頼を受けて「食物アレルギーの基礎知識と緊急時の対応」「アトピー性皮膚炎のスキンケア」「喘息吸入療法」などの講習会を年間40件程度行っています。

皮膚科



アレルギー性皮膚疾患、重症・難治性皮膚疾患の専門治療

診療の特色

- 皮膚に関するアレルギー性疾患の専門治療
 1. アトピー性皮膚炎治療（特に重症例・難治例）に注力。
 - 確立された多職種患者教育システムによる治療効果の向上：乳幼児アトピー教室、アトピーサマースクール（小中学生対象、入院）、アトピーカレッジ（成人対象、入院）
 - 心身相関に留意した全人的医療：小中学生の入院治療では、大阪府立羽曳野支援学校と連携し不登校合併例にも対応
 - 豊富な経験に基づく、新規治療薬の適切な導入による重症例の長期寛解維持の達成、QOLの回復。
 2. 食物アレルギー、薬剤アレルギー、接触皮膚炎の原因精査、加療。
 3. 重症薬疹の入院加療（血漿交換を含む）。
- アレルギー性疾患以外の難治性皮膚疾患全般に対応
水疱症、難治性湿疹、紅皮症、重症乾癬、脱毛症、膠原病（皮膚症状を主症状とするもの）など
- 生物学的製剤による加療（アトピー性皮膚炎・乾癬・慢性蕁麻疹など）適応症例をみきわめ重症例に対して最善の加療を実施。
- 地域の皮膚科一般診療の二次、三次機関
帯状疱疹、重症皮膚感染症、皮膚腫瘍（原則局所麻酔の範囲）手術などの入院加療
- 皮膚科病棟 20 床（一般 16、小児 4）を有し、ほぼ随時入院加療が可能。

医療設備・検査

- 紫外線全身照射設備（NB-UVB, UVA+UVB 両方）、ターゲット型エキシマライト、紫外線手足照射器
- イオントフォレーシス（掌蹠多汗症など）
- 皮膚超音波検査（Venue50, Derma Scon）
- 皮内テスト、プリックテスト、光テスト
- パッチテスト、負荷試験（チャレンジテスト）、皮膚生検
- 発汗テスト

主な診療実績（令和 3 年度 実入院患者数：521 人）

アトピー性皮膚炎（重症・成人含む）：256 人 / 薬疹・薬物過敏症：23 人 / 食物アレルギー、アナフィラキシー：22 人
帯状疱疹：17 人 / 悪性腫瘍：10 人 他 アトピーカレッジ（入院）参加者：160 人

スタッフ紹介

医師名		職 名	認定医・専門医・指導医
片岡 葉子	かたおか ようこ	副院長・主任部長 アトピー・アレルギーセンター長	日本皮膚科学会指導医、日本アレルギー学会指導医、日本心身医学会専門医
坂本 幸子	さかもと さちこ	診療主任	
阿古目 純	あこめ じゅん	医員	緩和ケア研修修了
益田 知可子	ますだ ちかこ	医員	緩和ケア研修修了
木村 優香	きむら ゆうか	レジデント	緩和ケア研修修了

〈はびきのDチャンネル〉

ご紹介いただいた症例の情報共有と地域医療の啓発活動として、Webによる症例報告会を2か月に1回実施しています。この活動を通じて、皮膚疾患に遭遇することの多いプライマリケアの先生方にもご協力いただき、地域の皮膚科診療を支えていきたいと考えています

眼科

現在非常勤医のみで、白内障、緑内障等の眼科一般診療を実施

診療の特色

現在眼科は非常勤医のみの診察になります。
一般診察の受付時間は、月・木・金の午前(9時～10時30分)までです。
患者様には大変ご不便をおかけしますが、ご理解の程宜しくお願いします。

紹介状をお持ちでなくても受診可能ですが、予約や紹介患者様が優先になります。
初診申込みは、事前にかかりつけ医を通して、当センター地域医療連携室で予約をお取りして
受診されるようにお願いします。

医療設備・検査

- 細隙灯顕微鏡検査
- フルオレセイン蛍光眼底造影検査(FAG)
- 動的視野検査
- OCT

主な診療実績(令和3年度 実入院患者数：100人)

白內障：100 人

スタッフ紹介

非常勤医師 3名、 視能訓練士 2名



耳鼻咽喉・頭頸部外科

アレルギー疾患の専門的治療と耳鼻咽喉科全般の総合的治療

診療の特色

- 耳鼻咽喉科領域に関するアレルギー疾患を専門的に治療。
アレルギー性鼻炎、アレルギー性鼻炎の原因精査、アレルギー免疫療法（皮下免疫療法、舌下免疫療法）、内視鏡下鼻内手術、好酸球形副鼻腔炎、内視鏡検査、画像検査、血液検査、組織検査を行い診断、保存的治療、副鼻腔内視鏡手術
- 耳鼻咽喉科・頭頸部外科領域疾患における診断、治療、手術を実施。
耳疾患、鼻副鼻腔疾患、咽頭喉頭疾患、頭頸部疾患（悪性腫瘍を除く）

日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設、大阪大学医学部附属病院耳鼻咽喉科専門研修プログラム連携施設、
日本アレルギー学会教育研修施設、日本気管食道科学会認定専門医研修施設(咽喉系)、
日本鼻科学会鼻科手術認可研修施設
※地域の医療機関との勉強会である「はびきの耳鼻咽喉科セミナー」を年1回開催。

主要検査

- アレルギー検査(特異的IgE測定、鼻汁好酸球検査、アレルゲン誘発テスト、皮内テスト)
- 耳・鼻・咽喉頭電子ファイバースコープ検査
- 平衡機能検査(赤外線CCD記録装置、電気眼振計(ENG))
- 頸部エコー検査、エコーガイド下穿刺吸引細胞診検査
- 聴力検査(純音聴力、語音聴力、内耳機能検査、ティンパノメトリー)
- 重心動揺検査(負荷測定可能)
- 嗅覚検査(静脈性嗅覚検査、基準嗅力検査)
- 味覚検査(電気味覚検査、濾紙ディスク法)
- ナビゲーション(副鼻腔内視鏡手術時に使用)
- 甲状腺、頭頸部手術 神経刺激モニター

主な診療実績(令和3年度)

内視鏡下鼻腔手術Ⅰ型(下鼻中介手術)：135 件 / 口蓋扁桃手術(摘出)：67 件
内視鏡下鼻・副鼻腔手術Ⅳ型(汎副鼻腔手術)：64 件 / 鼻中隔矯正術：61 件
内視鏡下鼻・副鼻腔手術Ⅲ型(選択的(複数洞)副鼻腔手術)：42 件 / アデノイド切除術：11 件
鼓膜(排液、換気)チューブ挿入術：7 件 / 耳下腺腫瘍摘出術(耳下腺浅葉摘出術)：6 件 / 顎下線摘出術：5 件 他

スタッフ紹介

医師名	職 名	専門分野	認定医・専門医・指導医
川島 佳代子 かわしま かよこ	医務局長 主任部長	鼻副鼻腔 アレルギー	日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会専門医・指導医、日本アレルギー学会専門医・指導医、 日本鼻科学会鼻科手術暫定指導医、厚生労働省認定補聴器適合判定医、 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会認定補聴器相談医、 身体障害者福祉法15条指定医、日本医師会認定産業医、 大阪府難病指定医、厚生労働省臨床研究・治験従事者研修修了、 緩和ケア研修修了、TNT(Total nutrition therapy) 研修修了、 嚥下機能評価研修修了、厚生労働省オンライン診療研修修了
花田 有紀子 はなだ ゆきこ	医長	耳鼻咽喉科一般	日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会専門医・指導医、日本気管食道科学会専門医、 厚生労働省認定補聴器適合判定医、日本医師会認定産業医、 大阪府難病指定医、緩和ケア研修修了
奥野 未佳 おくの みか	診療主任	耳鼻咽喉科一般	日本耳鼻咽喉科学会専門医、緩和ケア研修修了、 TNT(Total nutrition therapy) 研修修了、嚥下機能評価研修修了、 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会認定補聴器相談医、大阪府難病指定医
河辺 隆誠 かわべ たかなり	医員	耳鼻咽喉科一般	緩和ケア研修修了、嚥下機能評価研修修了、厚生労働省オンライン診療研修修了



循環器内科



心臓疾患の専門的治療と循環器全般の総合的治療

診療の特色

虚血性心疾患をはじめとする心臓疾患を中心に、肺循環疾患を含め循環器疾患全般にわたる診療。
身体障害者福祉法に基づく心臓機能障害認定診断を実施。

- 虚血性心疾患、心筋症、心臓弁膜症、不整脈などの心臓疾患及び肺高血圧、肺循環障害
- 急性心臓疾患（急性心筋梗塞、不安定狭心症、重症不整脈など）に対する集中治療
- 冠動脈疾患、末梢動脈疾患に対するカテーテル治療
- 徐脈性不整脈に対するペースメーカー植込み治療
- 頻脈性不整脈や心房細動に対するアブレーション治療
- 高血圧症、高脂血症、循環器系生活習慣病など

主要検査と特殊治療

- 心臓エコー検査、頸動脈・末梢血管エコー検査、エルゴメーター負荷心電図
- 冠動脈 CT 検査、心臓アイソトープ検査、心臓カテーテル検査
- 冠動脈・末梢血管へのカテーテル治療
- ペースメーカー植込み術
- 頻拍症に対してのアブレーション治療

主な診療実績（令和 3 年度 実入院患者数：255 人）

- 疾患別
慢性心不全：72 例 / 狭心症：32 例 / 不整脈：17 例 / 心筋梗塞、心筋症：7 例
肺動脈血栓症、静脈血栓症：6 例 / 肺高血圧：6 例
- 検査と治療
心臓エコー検査：2,312 件 / 経食道心エコー：10 件 / 末梢血管エコー検査：588 件
冠動脈 CT 検査：15 件 / 心臓カテーテル検査：69 件 / PCI：14 件 / アブレーション：4 件
ペースメーカー新規埋込み術：6 件 / エルゴメーター負荷心電図検査：67 件
下大静脈フィルター留置術：2 件

スタッフ紹介

医師名		職 名	認定医・専門医・指導医
江角 章	えがみ あきら	主任部長	日本内科学会認定医、日本内科学会総合内科専門医、日本循環器学会専門医、日本医師会認定産業医、臨床研修指導医、緩和ケア研修修了
原田 博	はらだ ひろし	副部長	緩和ケア研修修了
井内 敦彦	いうち あつひこ	副部長	日本心血管インターベンション治療学会認定医、日本内科学会認定医、日本内科学会総合内科専門医、臨床研修指導医、緩和ケア研修修了

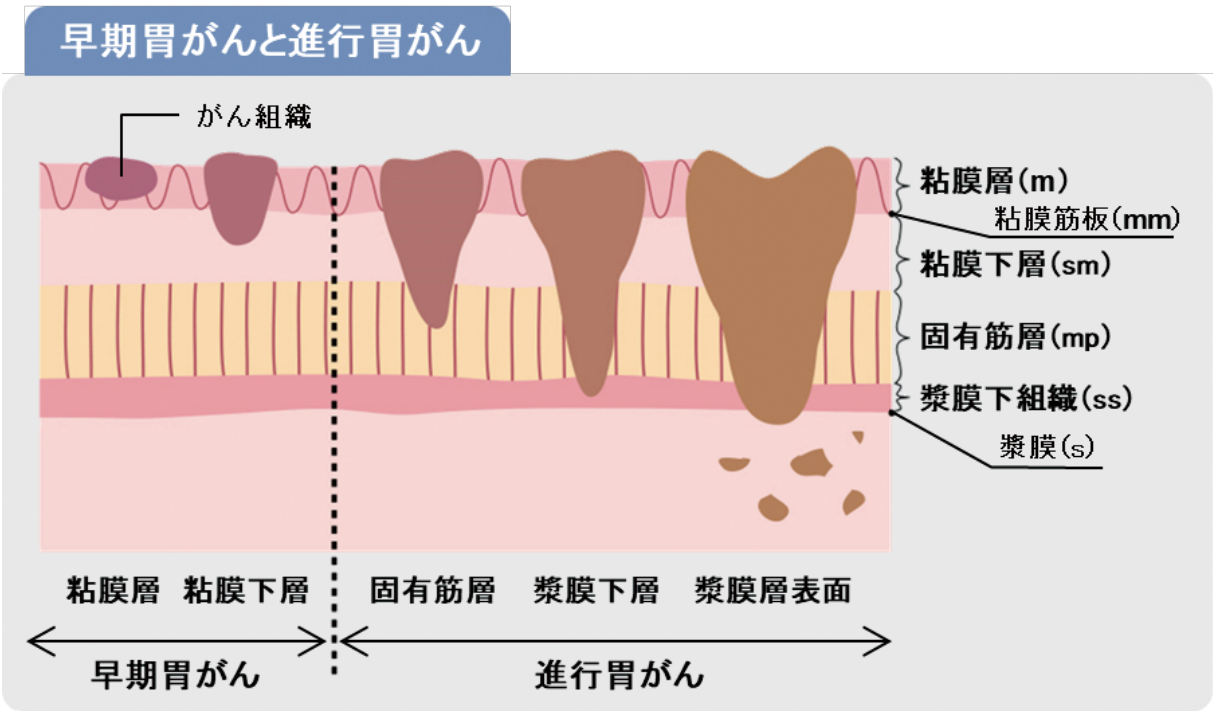
消化器内科



消化器系の悪性疾患をはじめ、消化器疾患にわたる診療

診療の特色

- 当科は、主に消化管（食道、胃、十二指腸、小腸、大腸など）疾患に対する消化器内視鏡検査、消化器内視鏡治療、薬物治療を実施。消化管関連癌に対しては、進行度に応じて外科、腫瘍内科、放射線科と連携し消化器内視鏡治療、腹腔鏡下手術、化学療法、放射線治療を組み合わせた集学的治療を提案。肝臓、胆嚢、膵臓疾患に関しても、エコー検査、CT 検査、MRI 検査、薬物治療を組み合わせた診断治療を実施。



主な診療実績（令和 3 年度 実入院患者数：215 人）

大腸ポリープ：104 人 / 胃がん：31 人 / 大腸がん：26 人
胆管結石・胆管炎：6 人 / 食道がん：3 人 / その他消化器疾患：36 人 他

スタッフ紹介

非常勤 6名

消化器外科



胃癌、大腸癌等の悪性疾患、胆石等の良性疾患、ヘルニア等の一般外科疾患の診療を実施

診療の特色

- 消化器癌に対する治療
消化器癌に対する治療は治療ガイドラインに準じて行い、進行度に応じて外科、腫瘍内科、放射線科と連携し内視鏡治療、腹腔鏡下手術、化学療法、放射線療法を組み合わせた集学的治療を実施。内視鏡外科学会技術認定医も在籍し、患者に侵襲の少ない手術を行うよう取り組み。
- 良性疾患に対する手術
胆嚢結石、ヘルニア、虫垂炎等の良性疾患に対する診療・治療。
- 腹部救急疾患
令和 3 年度より腹部救急診療を開始。消化器外科、婦人科、泌尿器科疾患等の幅広い救急疾患に対応。
- その他
上・下消化管内視鏡は専門の消化器内科医師による質の高い診療を提供。

主要検査

- 上部・下部消化管内視鏡検査
- 腹部、体表超音波検査
- 審査腹腔鏡
- 術中大腸内視鏡検査

主な診療実績(令和 3 年度 実入院患者数：235 人)

大腸がん：51 人 ／ 胃がん：27 人 ／ 胆管結石・胆管炎：16 人 ／ 大腸ポリープ：12 人 ／ ヘルニア：11 人
腸閉塞：10 人 ／ 消化管穿孔性疾患：6 人 ／ 虫垂炎：4 人 他

スタッフ紹介

医師名		職 名	認定医・専門医・指導医
宮崎 知	みやざき さとる	主任部長	日本外科学会認定医・専門医・指導医、日本消化器外科学会認定医・専門医・指導医、消化器がん外科治療認定医、日本消化器病学会専門医、日本内視鏡外科学会技術認定取得、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、日本がん治療認定医機構暫定教育医、日本肝胆膵外科学会・近畿外科学会評議員、臨床研修指導医、緩和ケア研修修了
池田 公正	いけだ きみまさ	部長	日本外科学会認定医・専門医・指導医、日本消化器外科学会認定医・専門医・指導医、消化器がん外科治療認定医、難病指定医、臨床研修指導医、臨床研究・治験従事者研修修了、医療コンフリクトマネジメント研修修了、がんリハビリテーション研修修了、緩和ケア研修修了
酒田 和也	さかた かずや	副部長	日本外科学会認定医・専門医・指導医、日本消化器外科学会専門医・指導医、消化器がん外科治療認定医、日本大腸肛門病学会専門医(外科)、近畿外科学会評議員、緩和ケア研修修了
野間 俊樹	のま としき	診療主任	緩和ケア研修修了
西 秀美	にし ひでみ	診療主任	日本外科学会認定医・専門医、日本消化器外科学会認定医・専門医・消化器がん外科治療認定医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、JATEC・JPTECプロバイダー、マンモグラフィ読影認定医、緩和ケア研修修了

乳腺外科



乳がんの標準治療(外科治療、薬物療法、放射線治療)、乳がん再発治療を実施

診療の特色

- 乳がんの早期発見と個別化治療
受診患者には主に視触診、マンモグラフィ、超音波検査を行い、異常が認められれば穿刺吸引細胞診や針生検、マンモトーム生検などの病理検査を実施。さらに乳がんの発見の感度が高いと言われている乳腺専用のコイルを用いた乳房 MRI 撮影を行い、画像診断と病理診断の整合性を確認した上で、乳がんと診断された患者には個々に合わせた治療を実施。乳房温存療法でセンチネルリンパ節生検を行う患者にはリンパ節転移が 2 個以下の場合には腋窩リンパ節郭清の省略も行い、術後の QOL も重視した治療を実施。また組織の免疫染色で乳がんのタイプ分類を行い、それぞれのタイプに合った薬物療法も実践。当院は放射線科と連携し、乳癌術後放射線療法などを当施設で実施可能。
- 乳がん晩期再発の診断と治療
晩期再発は乳がんの手術治療が終わって 5 年以上経過して再発すること。通院を終了している患者もあり、突然咳や痛みなどの症状で来院される方や、術後 10 年以上経過して再発する患者もある。この診断には画像診断だけでなく、転移、再発部位の組織診断が重要。当院では晩期再発を疑う患者には積極的に再発部位の組織採取を行い、病理医、腫瘍内科医、放射線科医と一緒に晩期再発の診断を実施。また再発患者に対する緩和治療も実施。
- 乳房再建
形成外科医と連携して乳房再建術も実施。自家組織(広背筋、腹直筋)や人工乳房(インプラント)の再建など個々に合わせた乳房再建を実施。

主要検査

- 乳腺・甲状腺超音波検査
- 乳房X線検査(マンモグラフィ)
- 乳房断層撮影
- 乳房造影MRI
- センチネルリンパ節生検
- 吸引式乳腺組織生検

主な診療実績(令和 3 年度 実入院患者数：218 人)

乳がん手術：58例 ／ 吸引式乳腺組織生検：47例 他

スタッフ紹介

医師名		職 名	認定医・専門医・指導医
安積 達也	あづみ たつや	主任部長 乳腺センター長	日本外科学会専門医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、マンモグラフィ読影認定医、日本乳癌学会乳腺専門医・指導医、乳腺超音波技術認定医、日本医師会認定産業医

産婦人科



産科から婦人科悪性腫瘍まで、あらゆる疾患に対応

診療の特色

- 産婦人科としては、羽曳野・藤井寺・柏原市域における最大の施設。産婦人科救急（24 時間医師が在院）にも対応。

産科

- 充実した体制の下、無痛分娩を含めた満足度の高い出産（立会い出産・母乳保育）を提供。
- 助産師（常勤）による、育児・母乳相談を実施。
- 小児科専門医による1ヶ月健診を実施。



婦人科

- 膣式手術（子宮筋腫、子宮脱等）、子宮鏡手術、腹腔鏡手術（卵巣腫瘍、不妊等）、悪性腫瘍根治手術を実施。
- 放射線療法（進行子宮頸部癌についても積極的に対応）も実施。
- 悪性腫瘍治療の化学療法の一環として、遺伝学的検査も実施。
- 思春期・更年期障害、尿失禁などの女性ヘルスケアにも対応。

不妊

- 人工授精まで対応（体外受精は除く）。

主要検査

- 子宮卵管造影検査
- 子宮鏡検査
- 超音波検査
- 骨塩定量測定
- CT 等各種画像診断

主な診療実績（令和 3 年度 実入院患者数：1,871 人）

子宮体がん：68 人 / 子宮頸がん：52 人 / 卵巣がん・卵管がん：106 人
分娩件数：938 件（うち無痛分娩：168 件）
手術件数：659 件（うち腹腔鏡下手術：189 件 / 子宮鏡下手術：52 件）

その他

- 日本産科婦人科学会の認定医制度研修施設

スタッフ紹介

医師名		職 名	認定医・専門医・指導医
赤田 忍	あかだ しのぶ	主任部長	奈良県立医科大学臨床教授、奈良県立医科大学非常勤講師、日本産婦人科学会認定指導責任者、産婦人科専門医、母体保護法指定医、難病指定医
安川 久吉	やすかわ ひさよし	副部長	日本産婦人科学会認定指導医、産婦人科専門医、母体保護法指定医、
小川 憲二	おがわ けんじ	医長	日本産婦人科学会認定指導医、母体保護法指定医、超音波専門医、日本周産期・新生児医学会周産期専門医（母体・胎児）、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、臨床研修指導医
智多 昌哉	ちた まさや	医長	日本産婦人科学会専門医、日本周産期・新生児医学会周産期専門医（母体・胎児）
中野 和俊	なかの かずとし	診療主任	日本産婦人科学会認定専門医、母体保護法指定医、超音波専門医、日本胎児心臓病学会 胎児心エコー認証医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医
坂元 優太	さかもと ゆうた	レジデント	

〈はびきやまセミナー〉

はびきやまセミナーは、羽曳野市、藤井寺市、柏原市など近隣の地域で開業もしくは病院に勤務されている産婦人科の先生方を対象に行っている勉強会です。当センターの近況報告や最新の産婦人科の話題を提供する場として平成17 年から始めました。大阪産婦人科医会承認の勉強会で、例年6月に開催しておりますので、時間が許す限り奮ってご参加ください。 ※詳細はホームページをご覧ください。

泌尿器科



泌尿器科領域の悪性疾患や排尿障害、尿路結石などあらゆる疾患に対応しています

診療の特色

- 令和2年4月より泌尿器科外来を開設。
- 副腎、腎臓、尿管、膀胱、前立腺、精嚢、尿道、精巣、陰茎、陰嚢に関する泌尿器科疾患全般を扱い、前立腺癌検診、超音波診断、CT、MRIなどの画像診断、尿流量測定などにより泌尿器科専門医が専門的な治療を提供。

主要検査

- 軟性膀胱鏡検査
経尿道的（尿道から）に内視鏡を挿入し、尿道・膀胱・前立腺を観察する検査です。当科では、細くやわらかく滑らかに曲がるスコープを導入し苦痛を大幅に抑え施行することが可能です。日帰りで行うことができ、検査日以前の準備や処置の必要もありません。
- 尿流測定検査
この検査では、「尿流量測定装置」を使って尿の出方を測定します。いつものように排尿するだけで、尿の勢い・1回排尿量・排尿時間などを測定します。また、この検査の後に残尿を測定することにより、より多くの情報が得られます。
- 前立腺超音波検査
前立腺の形や大きさ、また前立腺内部及び周囲の状態を超音波で調べる検査です。お腹からの超音波検査は一般的ですが当科では専用のプローブを用い肛門から行います。経直腸的超音波検査は腹部からの超音波検査に比べて鮮明な画像が得られるため、より正確な検査が行えます。そのため、前立腺がんの超音波検査には直腸から行う経直腸的超音波検査が多く用いられます。



膀胱腎盂ビデオスコープ

主な診療実績（令和 3 年度 実入院患者数：150 人）

前立腺がん：57 人 / 膀胱がん：24 人 / その他悪性腫瘍：10 人

スタッフ紹介

医師名		職 名	認定医・専門医・指導医
福井 辰成	ふくい たつなり	主任部長	日本泌尿器科学会認定専門医・指導医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、身体障害者福祉法指定医（腎臓機能障がい）、臨床研修指導医、日本医師会認定産業医、医学博士、ダ・ヴィンチサージカルシステム認定医、がんリハビリテーション研修修了、緩和ケア研修修了、RI 内用療法における適正使用に関する安全講習会修了
大草 卓也	おおくさ たくや	診療主任	日本泌尿器科学会認定専門医・指導医、ダ・ヴィンチサージカルシステム認定医、日本泌尿器内視鏡学科腹腔鏡技術認定医、緩和ケア研修修了
山口 誓司	やまぐち せいじ	院長	日本泌尿器科学会認定専門医・指導医、日本泌尿器内視鏡学会腹腔鏡技術認定医、日本内視鏡外科学会泌尿器腹腔鏡技術認定医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、日本内分泌外科学会認定専門医・指導医、日本腎臓学会専門医・指導医、日本移植学会認定医、日本臨床腎移植学会認定医、泌尿器ロボット支援手術プロクター、ダ・ヴィンチサージカルシステム認定医、ICD 制度協議会認定 ICD

整形外科



変形性関節症・骨粗鬆症を中心とした高齢者の治療を行っています

診療の特色

- 令和4年4月より開設。
- 腰痛や関節痛、骨粗鬆症や骨折などに対し、高齢化社会における健康な社会生活を営めるよう診療を実施。
- 専門分野
膝・股関節の人口関節、骨粗鬆症（腰痛等）、リウマチ、一般外傷（骨折等）

変形性関節症・骨粗鬆症を中心とした高齢者の治療

変形性膝関節症、変形性股関節症による関節の疼痛、変形に対して、関節内注射や外用薬・装具療法などを中心に治療をはじめ、歩行障害が著しくなった際には手術療法などを検討していきます。

女性に多い、閉経後の腰痛に関しては、早期の骨粗鬆症予防を行うことにより、長期にわたり腰痛を軽減することが可能であり、高齢になってからの圧迫骨折などによる入院のリスクを減らすことができ、健康寿命を延ばすことができます。

また、高齢者の大腿骨頸部骨折や手関節の骨折などは近年、高齢化社会の進行に伴い増加しており、早期手術による早期社会復帰が可能であり、当院でも積極的に手術を行っています。

私たち整形外科は腰痛や関節痛、骨粗鬆症や骨折など高齢化社会における健康な社会活動を営むためのお手伝いをしていきます。当院、整形外科は令和4年4月に開設、常勤医師2名にて活動を始めます。外来診療はもちろんのこと、地域の健康寿命を延ばせるよう頑張っておりま。整形外科の診療範囲は広く、常勤2名ではすべての患者さんにベストな治療を行うことは難しく、地域の各専門分野の整形外科の先生方と協力して、適切な治療をしたいと思ひます。

当科主任部長塚本は、膝や股関節の人工関節中心に長年手術の指導をしてきました。また、最近では骨粗鬆症や関節リウマチのお薬の開発が進み、きちんとした診断と病態把握すれば適切な治療ができる環境が整ってきています。今後は、地域の方々の健康寿命が少しでも長くなる様、貢献できるように頑張りますので、新設の診療科ではありませんが、お困りのことがあれば、気軽に受診していただければと思います。

スタッフ紹介

医師名		職名	認定医・専門医・指導医
塚本 泰徳	つかもと やすのり	主任部長	日本整形外科学会専門医、 日本リウマチ学会認定医、 日本整形外科学会（リウマチ認定医・スポーツ認定医・リハビリ認定医）
谷内 孝二	やち こうじ	副部長	日本整形外科学会専門医

麻酔科



重症の低肺機能患者の周術期管理にも対応

診療の特色

- 麻酔・周術期管理
院内診療科の全身麻酔、硬膜外麻酔、脊椎くも膜下麻酔を担当。
一般的な合併症症例をはじめ、様々な呼吸器系合併症症例の麻酔管理に対応。特に、慢性閉塞性肺疾患、喘息を合併した症例や、結核やその他の呼吸器感染症の治療中や治療直後の症例、さらには、進行し在宅酸素療法を必要とする重症の低肺機能症例や気道狭窄症例の周術期管理にも対応。
外科系全診療科と術前症例検討会を行って、術前問題点についての検討や必要な症例には術前管理に関する助言を実施。術後全身管理に関しても、特に重症症例について積極的に助言・協力を実施。
- 術後疼痛管理
局所麻酔薬の持続硬膜外投与やオピオイドの持続静脈投与、あるいは各種末梢神経ブロックなどを用いて、術後疼痛に対し積極的に対応。
- ペインクリニック・緩和ケア
ペインクリニックは入院患者に対し、個別に対応。また緩和ケアに参画し、癌性疼痛患者の疼痛管理に助言・協力。

医療設備

- 麻酔器
- 生体情報モニタ
- 脳波モニタ
- 超音波診断装置
- 気管支ファイバー
- 血液ガス・電解質分析装置
- 血糖測定装置

主な診療実績（令和3年度）

- 麻酔科管理：904例
全身麻酔：867例（うち硬膜外麻酔併用：374例）／（神経ブロック併用：204例）
脊髄くも膜下麻酔：36例（うち硬膜外麻酔併用：5例）／（神経ブロック併用：12例）
硬膜外麻酔：1例
- 気道管理
分離肺換気：247例／気道狭窄：3例

スタッフ紹介

医師名		職名	認定医・専門医・指導医
高内 裕司	たかうち ゆうじ	主任部長	日本専門医機構麻酔科専門医、日本麻酔科学会麻酔科指導医、 日本集中治療医学会認定集中治療専門医、 日本心臓血管麻酔学会日本周術期経食道心エコー認定医、大阪大学医学部臨床教授
播磨 恵	はりま めぐみ	副部長	日本専門医機構麻酔科専門医、日本麻酔科学会麻酔科指導医、臨床研修指導医、緩和ケア研修修了
安藝 裕子	あき ゆうこ	診療主任	日本麻酔科学会麻酔科専門医、緩和ケア研修修了

集中治療科



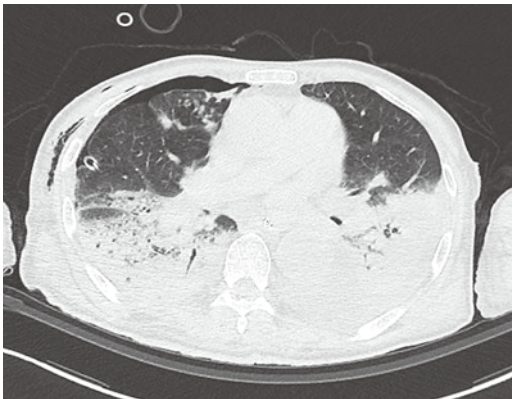
急性の呼吸不全や循環不全に対する高度な呼吸管理と専門医療を提供

診療の特色

- 集中治療とは、内科・外科を問わず、生命の危機にある急性期重症患者を、24 時間の厳重な観察のもとに、先進医療技術を駆使して集中的に治療することで、救命し、病態の安定化および回復を図ることを目指す急性期全身管理医学。
- 集中治療専門医 1 名を有し、看護師、理学療法士、臨床工学士、薬剤師、呼吸ケアサポートチームとともに多職種からなる診療チーム (ICU 診療チーム) を立ち上げ、日勤帯には集中治療室専任医師が常駐する体制で重症疾患治療部門を運営。
- 各専門診療科と連携して、院内および院外からの重症患者を受け入れ、ARDS や COPD 増悪、気管支喘息重積発作などの急性呼吸不全・慢性呼吸不全急性増悪をはじめ、ショック・心不全や急性腎障害、重症感染症など様々な重症病態・多臓器不全に対する集学的治療を実施。
- 早期からの経腸栄養療法や早期リハビリテーションを導入し、さらに、人工呼吸管理中も睡眠の調節および日中積極的な覚醒下での管理による患者とのコミュニケーションを図ることで、患者を救命できるだけではなく、さらに、以前の家庭生活や社会生活が送れるレベル、ICU 退室後の社会参加までを視野に入れた最良の回復を目指す。

ARDS (急性呼吸窮迫症候群)

肺炎や敗血症などの感染症、急性膵炎、多発外傷など、様々な先行疾患が引き金となって発症する重篤な呼吸障害。胸部レントゲンでは、両側性の肺浸潤影が認められる。ARDS を引き起こす原疾患は、肺炎や尿路感染症などの細菌感染から多発外傷、熱傷、ARDS では、一般的に行われる酸素吸入では十分に酸素を体内に取り込むことが困難な重篤な呼吸不全を発症するため、人工呼吸器を用いた呼吸管理を行う必要がある。その多くの場合は、気管挿管を行った上で侵襲的人工呼吸管理を行うが、集中治療科でも、専任医師の管理のもと、習熟したスタッフにより実施している。



ARDSの胸部CT

早期離床・早期リハビリテーション

近年、ICU における患者の救命率は向上したが、病状が回復し ICU を退室した患者において、退院後も運動機能やメンタルヘルスの障害が高率に発生し、患者の生活の質 (QOL) を損ない、社会復帰への妨げとなることが大きな問題となっているが、このような患者に、人工呼吸管理中から早期離床・早期リハビリテーションを行うことで、ICU 退室時や退院後の患者の筋力回復や機能的自立度の改善効果が期待できる。

当科では、集中治療科医師、看護師、理学療法士により協議を行いながら、人工呼吸管理中の重症患者への早期離床・早期リハビリテーションのためのプログラム作成を進めており、入室後速やかに介入を開始し、理学療法士、看護師、医師が協力しながら、人工呼吸管理中でも積極的に座位保持、立位、歩行へと離床を行っている。

スタッフ紹介

医師名		職 名	認定医・専門医・指導医
柏 庸三	かしわ ようぞう	主任部長	日本集中治療医学会認定集中治療専門医、日本内科学会認定総合内科専門医、日本呼吸器学会認定呼吸器専門医、日本呼吸療法医学会認定呼吸療法専門医・代議員、日本内科学会認定医
岡田 英泰	おかだ ひでやす	医員	日本内科学会認定医、緩和ケア研修修了

放射線科



CT、MRIや核医学検査などの画像診断、IVRおよび放射線治療

診療の特色

画像診断

- CT検査、MRI検査、ラジオアイソトープ検査などを施行。
- CT は2台のマルチスライス CT が稼働。1台は Dual Energy CT。
- MRIは1.5T の装置が1台稼働。
- 当施設は日本乳がん検診精度管理中央機構のマンモグラフィー検診認定施設。
- CT、MRI やラジオアイソトープ検査は、地域医療連携室を介して受託施行。画像診断報告書と画像データ (CD-ROM) は、原則として 1 ～ 2 診療日以内にご依頼いただいた医療機関に郵送



IVR (interventional radiology)

- カテーテルや穿刺針などを用いて、画像ガイド下に治療を実施。
- 持続する血痰や咯血に対する動脈塞栓術、産科出血や消化器出血に対する動脈塞栓術、CT ガイド下生検などを院内の他科依頼を受けて施行。心臓カテーテル検査は、循環器内科で担当施行。
- 気管支鏡検査 (肺腫瘍内科・呼吸器内科が担当)、子宮卵管造影 (婦人科が担当) など施行。

放射線治療

- 放射線治療の外来予約は地域医療連携室へご連絡願います。放射線治療専門医とのご相談後、治療適応を決めさせていただきます。

業務実績 (令和 3 年度)

一般撮影：43,124 件 / マンモグラフィー：2,384 件 / 特殊撮影 (X 線 TV 系)：448 件
アンギオ室検査：186 件 / CT：13,074 件 / MRI：2,800 件 / RI：446 件
放射線治療：3,160 件 / CD 作成、取り込み：7,288 件

スタッフ紹介

医師名		職 名	認定医・専門医・指導医
竹下 徹	たけした とおる	主任部長	日本医学放射線学会専門医、日本医学放射線学会研修指導者、日本インターベンショナルラジオロジー学会 IVR 専門医
堤 真一	つつみ しんいち	副部長	日本放射線腫瘍学会放射線治療専門医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医
後藤 拓也	ごとう たくや	医員	

※非常勤画像診断医 6 名 / 診療放射線技師 14 名

〔放射線関連専門技師〕

第 1 種放射線取扱主任者：2 名 / 放射線治療品質管理士：1 名 / 放射線治療専門技師：1 名
医用画像情報精度管理士：2 名 / 肺がん CT 検診認定技師：5 名
検診マンモグラフィー撮影認定診療放射線技師：3 名 / 日本 X 線 CT 専門技師認定機構 CT 認定技師：3 名
血管撮影・インターベンション専門診療放射線技師：1 名 / 医療情報技師：3 名 / 磁気共鳴専門技術者：1 名
臨床実習指導教員：1 名 / 放射線機器管理士：1 名 / 放射線管理士：1 名 / Ai 認定診療放射線技師：2 名

外来化学療法科



抗がん剤治療と日常生活の両立と治療

診療の特色

- がんを中心に消化器がん、乳がんなどの通院抗がん剤治療。
- 経験豊富な専任看護師を中心に、抗がん剤治療中の看護。
- 抗がん剤に精通した専任薬剤師を中心に、薬局で点滴治療薬の無菌調剤。

主な診療実績【外来化学療法を行った患者数(過去5年間)】

平成28年度：1,760人 / 平成30年度：1,861人 / 令和元年度：1,620人
令和2年度：1,587人 / 令和3年度：1,410人

スタッフ紹介

医師名		職 名	認定医・専門医・指導医
鈴木 秀和	すずき ひでかず	主任部長 肺腫瘍内科 主任部長	日本内科学会認定内科医、日本内科学会総合内科専門医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、 日本呼吸器学会専門医・指導医、日本呼吸器内視鏡学会専門医、緩和ケア研修修了
森下 直子	もりした なおこ	副部長	日本内科学会認定内科医、日本呼吸器学会専門医、日本呼吸器内視鏡学会専門医、緩和ケア研修修了

呼吸器内視鏡内科

最新の機器による的確な診断と治療

診療の特色

- 肺癌などの胸部悪性腫瘍に対し、内視鏡を用いた診断と治療。
- 超音波内視鏡や仮想気管支ナビゲーションなど最新の機器を導入し、高精度の診断。
- 挫滅が少ない大きな検体が採取できるクライオ生検(冷凍プローブによる生検)を開始。
- 胸水に対しては局所麻酔下胸腔鏡を用いて診断。
- スtent留置術、気管支充填術、気管支サーモプラスチックなど、気道インターベンションも積極的に実施。

臨床検査科



迅速かつ正確な検査結果の報告

診療の特色

- アレルギーの原因を突き止めるために、多数のアレルゲン項目を測定。
- アトピー性皮膚炎の皮膚病変のモニタリングに有用な TARC の検査。
- 抗カビ抗体の免疫血清検査。
- フローサイトメトリーで免疫機能の状態を調べる検査。
- 肺胞洗浄液から、アスベスト小体の検出や肺内の病気を調べる検査。
- 結核菌検査では、より効率の良い集菌、蛍光染色法を用い、喀痰中の結核菌の有無を、迅速の場合、約 15 分で報告。
- 結核菌やマイコプラズマの遺伝子検査。
- 長時間必要な結核菌の培養や薬剤感受性試験を最短 2 週間で報告。
- 睡眠時無呼吸症候群の検査(1 泊)やその治療(2 ～ 3 日の入院)
- 精密呼吸機能検査が充実しており、呼吸抵抗なども測定し、また測定結果から肺年齢を判定。
精密呼吸機能検査については、地域連携を通じて依頼を受け、実施。
- 腹部、乳腺などの体表及び心臓の超音波検査。

主要検査

- 生化学・免疫検査 ―――― 肝機能等やアレルギーの原因物質、免疫抗体等の検査
- 血液検査 ―――― 赤血球、白血球数等の測定や血球細胞の分類、血の固まり易さの検査
- 一般検査 ―――― 尿、便の検査、喀痰、鼻汁中の好酸球の検査
- 細菌検査、輸血検査、生理機能検査 ― 感染症と思われる検体から、その原因を見つけ、有効な薬剤の探索。

検体検査件数(令和 3 年度)

生化学検査：884,158 件 / 血液検査：151,950 件 / 輸血検査：13,969 件 / 細菌検査：19,223 件
抗酸菌(結核菌)検査：16,558 件 / 呼吸機能検査：21,023 件 / その他生理機能検査：13,189 件

スタッフ紹介

医師名		職 名	認定医・専門医・指導医
田村 嘉孝	たむら よしたか	主任部長・感染症センター長	日本結核・非結核性抗酸菌症学会結核・抗酸菌症指導医
山口 徹	やまぐち とおる	レジデント	日本内科学会認定内科医、日本医師会認定産業医

※臨床検査技師 全24名

【資格保有人数一覧】

細胞検査士：6 名 / 結核・抗酸菌症認定エキスパート：1 名 / 国際細胞検査士：2 名 / 認定血液検査技師：1 名
認定臨床微生物検査技師：2 名 / 認定心電検査技師：1 名 / 超音波検査士(消化器)：1 名 / 1 級臨床検査士(血液)：1 名
超音波検査士(循環器)：2 名 / 2 級臨床検査士(微生物)：2 名 / 超音波検査士(健診)：1 名 / 2 級臨床検査士(血液)：2 名
超音波検査士(産婦人科)：1 名 / 緊急臨床検査士：6 名 / 超音波検査士(泌尿器)：1 名 / 認定病理検査技師：1 名
乳房超音波講習会A判定：1 名 / 超音波検査士(体表)：3 名 / 認定サイトメトリー技術者：2 名
感染制御認定臨床微生物検査技師(ICMT)：2 名

施設認定 認定臨床微生物検査技師制度研修施設

病理診断科



病理・細胞診断を迅速にかつ正確に行っています

診療の特色

- 患者の身体から採取された組織や細胞を顕微鏡で観察し、それが良性か悪性かの確定診断を実施。
- 病理検査は病理組織診と細胞診の2つに分類。いずれも、治療方針の決定に重要な役割を担っている。
- 当科では地域医療支援の観点から、常勤病理医が勤務していない近隣6病院から術中迅速病理組織検査を引き受けている。
- 亡くなられた患者に対しては、遺族の承諾を得て病理解剖を行い、主治医と病理医で、臨床病理カンファレンス(CPC)を開催。CPCにおいて治療法の妥当性の検証や死因の徹底的な究明がなされ、そのような検討の積み重ねが、他の患者の治療方針にフィードバックされ、医学の進歩に貢献している。
- 臨床病理カンファレンス(CPC)：年4回

主要診断

- 細胞診断
- 生検組織診断
- 手術で摘出された臓器・組織の診断
- 手術中の迅速診断

主な診療実績(令和3年度)

組織診断総計：2,843件 / 細胞診断総計：8,498件

スタッフ紹介

医師名	職名	認定医・専門医・指導医
上田 佳世 うえだ かよ	部長	日本病理学会病理専門医・研修指導医・学術評議員、日本臨床細胞学会細胞診専門医、日本臨床検査医学会臨床検査管理医、厚生労働省死体解剖資格認定、臨床研修指導医
森 秀夫 もり ひでお	診療主任	日本病理学会病理専門医、日本臨床細胞学会細胞診専門医、厚生労働省死体解剖資格認定

救急診療科



呼吸器疾患をはじめ急性腹症、循環器疾患など幅広い救急初期診療を提供

診療の特色

- 令和4年4月より救急診療科を開設。
- 日本救急医学会専門医・指導医1名が、平日時間内は救急室に常駐して、初期から二次救急に迅速対応。
- 病院各科と連携して、重症度を問わず、呼吸器疾患をはじめとして急性腹症、循環器疾患などの幅広い急性期疾患に対する初期診療を提供。

スタッフ紹介

医師名	職名	認定医・専門医・指導医
廣田 哲也 ひろた てつや	主任部長	日本救急医学会専門医・指導医、日本病院総合診療医学会認定医・評議員、日本救急医学会ICLSコース、インストラクター・ディレクター、麻酔科標榜医

臨床研究センター



医学と医療の進歩に貢献します

役割

臨床研究センターは、平成18(2006)年4月に院内の診療科・検査科・感染対策チーム(ICT)と連携し「医学と医療の進歩に貢献する」ための臨床研究部として創設され、2017年4月より臨床研究センターに改称。
現在、①結核・感染症、②免疫・アレルギー、③分子肺疾患(肺がん)、④呼吸器(COPDや間質性肺炎)の4領域で、患者の臨床検体と診療データを活用した新しい診断検査法・治療薬・発症予防法の開発と、その臨床治験を推進。
また、院内診療科・検査科・ICTと共に、近隣施設の診療や感染対策への支援。

スタッフ紹介

医師名	職名	認定医・専門医・指導医
橋本 章司 はしもと しょうじ	主任部長 臨床研究センター長 結核・感染症研究室 室長 感染対策チーム委員長	日本感染症学会推薦 ICD、日本内科学会総合内科専門医、日本呼吸器学会呼吸器専門医、日本アレルギー学会アレルギー専門医、日本感染症学会専門医・指導医、日本結核・非結核性抗酸菌症病学会結核・抗酸菌症指導医、日本臨床研修協議会プログラム責任者、日本医師会認定産業医
片岡 葉子 かたおか ようこ	免疫・アレルギー研究室 室長 皮膚科主任部長 アトピー・アレルギーセンター長 副院長	日本皮膚科学会指導医、日本アレルギー学会指導医、日本心身医学会専門医
門田 嘉久 かどた よしひさ	分子肺疾患研究室 室長 呼吸器外科 主任部長 気胸センター長	日本外科学会専門医・指導医、日本胸部外科学会認定医、日本呼吸器外科学会専門医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、がんリハビリテーション研修修了、大阪大学医学部臨床教授
松岡 洋人 まつおか ひろと	呼吸器研究室 室長 呼吸器内科 主任部長 呼吸ケアセンター長	日本内科学会総合内科専門医・指導医、日本呼吸器学会専門医・指導医

次世代創薬創生センター



産学連携や公衆衛生上の危機に即応した研究を行います

役割

近年、高度専門医療の提供は、医療シーズを橋渡しする Translational Research (TR) 部門と、医療ニーズからシーズを生み出す reverse TR 部門が相乗効果をもって開発・提供するトレンドに深化しており、令和2年(2020年)8月に、reverse TR 部門として次世代創薬創生センターを創設。次世代創薬創生センターは、rTRに不可欠な産学連携研究・開発を行うとともに、COVID-19のような公衆衛生上の危機に即応する研究も行い、府域医療水準の一層の向上にも寄与する。

スタッフ紹介

医師名	職名	認定医・専門医・指導医
松山 晃文 まつやま あきふみ	主任部長 次世代創薬創生センター長	日本内科学会認定内科医・総合内科専門医、日本循環器学会循環器専門医

看護部



理念：私たちは誠意と温かみのある、やさしい看護を実施します

特 色

- 呼吸器、アレルギー、がん、感染症の分野で専門性の高い看護を提供しています。
- 看護の専門性を活かしチーム医療のファシリテーターとして、活動を推進しています。
- 地域の訪問看護ステーションや他施設と連携し、スムーズな入退院支援に取り組んでいます。
- 自施設だけでなく地域全体の医療・看護の質向上に向けて、研修会や事例検討会を開催しています。

その他

- 専門・認定看護師が「看護専門外来」を行っています。
【呼吸器看護専門外来】 月～金曜日 9：00～17：00
内容：在宅酸素療法、在宅 NPPV 指導や相談など
【がん看護専門外来】 水・木・金 9：00～17：00
内容：がん告知後のサポートや治療中の療養相談など地域の医療機関にむけた教育活動
- 地域の医療機関にむけた教育活動
【看護セミナー】 年5回程度
対象：地域の病院、訪問看護ステーション看護師
【専門看護コース】 呼吸器、アレルギー、がん看護分野で各4回／年 シリーズ
対象：当センターと地域の病院、訪問看護ステーション看護師



看護専門外来の様子



看護セミナーの様子

スタッフ紹介

看護師名	職 名	認定資格
岡田 知子 おかだ ちこ	看護部長	日本看護協会認定看護管理者

常勤看護師：386名／非常勤看護師：54名（2022年4月1日現在）

日本看護協会 認定看護管理者：1名／日本看護協会 慢性疾患看護専門看護師：2名
日本看護協会 小児看護専門看護師：1名／日本看護協会 感染管理認定看護師：1名
日本看護協会 緩和ケア認定看護師：2名／日本看護協会 がん化学療法認定看護師：1名
日本看護協会 がん放射線療法認定看護師：1名／日本看護協会 慢性呼吸器疾患看護認定看護師：2名
日本看護協会 認知症看護認定看護師：1名／日本看護協会 クリティカルケア認定看護師：1名
呼吸ケア指導士：5名／3学会合同 呼吸療法認定士：20名
日本小児臨床アレルギー学会 小児アレルギーエドクター：11名／アレルギー疾患療養指導士：2名

薬局



高度に専門化した薬物療法をサポートしています

特 色

- 患者に安心して治療を受けていただくために、薬学的関与により、より有効で安全な薬物治療に貢献。
 - ① 入院時に持参薬確認を行い、処方薬の総合評価の取組としてポリファーマシー解消に向けた減薬などの総合的な評価と調整を行うことで入院から退院まで薬剤師が薬剤師関して介入している。
 - ② がん専門薬剤師を中心とした専門知識を有する薬剤師が、抗がん剤治療をサポートし、患者の適正な投与管理を目的として、地域の保険医療機関及び保険薬局を対象に承認されたレジメンをホームページで公開。トレーニングレポートにより薬薬連携を進めている。また、日本医療薬学会「がん専門薬剤師研修施設」等の認定を受け、後進の指導に取り組んでいる。外来診察前のがん患者指導（薬剤師外来）により、退院後も安心して外来治療が継続できるように支援している。
 - ③ アレルギー疾患療養指導士をはじめとするアレルギーに精通した薬剤師が、入院患者や小児科外来の喘息患児に対し、実際にデバイスを使用した吸入手技の練習を行い、個々の症状にあったき細かい吸入療法の指導を実施。
 - ④ AST（抗菌薬適正使用チーム）専任薬剤師を配置し、院内で使用する抗菌薬のサーベイランスやモニタリングを実施し、抗菌薬の適正使用に貢献。
 - ⑤ 薬薬連携の取り組みとして、手術予定の患者の入院前の服用中止薬のチェック、入院中の薬剤の変更及び注意点などを退院時にかけつけ薬局に情報提供し、保険薬局と連携して服薬管理を実施。また、がん薬薬連携事業や大阪アズマネットワーク（吸入指導やアレルギー関連）、地域連携研修会等を開催。
 - ⑥ 薬学6年制長期学生実務実習受入施設として、薬学部学生を積極的に受け入れ。



抗がん剤の調製は薬局で行っています。抗がん剤治療において、レジメンの登録管理、服薬指導やチーム医療をサポートしています。



入院時には持参薬の確認をしています。また、薬剤師外来を開設し、吸入指導や手術患者さんの服用薬やアレルギーの確認、がん患者さんには抗がん剤治療薬について説明をしています。

施 設

- 日本医療薬学会がん専門薬剤師研修施設 ● 日本医療薬学会医療薬学専門薬剤師研修施設
- 日本医療薬学会薬物療法専門薬剤師研修施設（基幹施設）
- 日本医療薬学会地域薬学ケア専門薬剤師研修施設（基幹施設）
- 日本緩和医療薬学会緩和医療専門薬剤師研修施設 ● 薬学6年制長期学生実務実習受入施設

スタッフ紹介

薬剤師名	職 名	薬剤師	職 名
金銅 葉子 こんどう ようこ	薬局長	木澤 成美 きざわ なるみ	副薬局長

【学会認定など】

※ 常勤薬剤師：14名／日本医療薬学会 がん指導薬剤師：1名／日本医療薬学会 がん専門薬剤師：2名
日本病院薬剤師会 感染制御認定薬剤師：4名／日本病院薬剤師会 日病薬病院薬学認定薬剤師：6名
日本化学療法学会 抗菌化学療法認定薬剤師：3名／日本薬剤師研修センター認定実務実習指導薬剤師：7名
日本結核病学会 抗酸菌症登録エキスパート：1名／日本臨床栄養代謝学会 栄養サポートチーム専門療養士：3名
日本緩和医療薬学会 緩和薬物療法認定薬剤師：1名／日本腎臓病薬物療法学会 腎臓病薬物療法認定薬剤師：1名
アレルギー疾患療養指導士：2名／小児アレルギーエドクター：2名

申込日 令和 年 月 日

診療予約申込書

貴医療機関名 ()
ご住所 (〒)
貴医師名 ()
電話番号 () -
FAX () -

希望される受診科(☑印を付けてください)

☐ 呼吸器内科	☐ 肺腫瘍内科	☐ 呼吸器外科	☐ 感染症内科	☐ アレルギー・リウマチ内科
☐ 消化器外科	☐ 消化器内科	☐ 乳腺外科	☐ 小児科	☐ 小児循環器専門外来
☐ 皮膚科	☐ 循環器内科	☐ 眼科	☐ 耳鼻咽喉・頭頸部外科	
☐ 産婦人科	☐ 泌尿器科	☐ 整形外科	☐ 放射線治療	☐ その他

病名及び目的について ~日本語でお願いします~

希望医師名()

受診を希望される日をご記入お願いします

・第1希望日()	・第2希望日()	※都合の悪い日()
☐ できるだけ早く	☐ 1ヶ月以内の受診希望	

ご紹介いただきます患者さまについてご記入をお願いします

フリガナ			性 別	※旧姓(名字変更の場合記入)
患者氏名			男 ・ 女	
生年月日	大正 ・ 昭和 ・ 平成 ・ 令和	年 月	日生まれ (歳)	
フリガナ				
住 所				
電 話	() -	携帯電話		
当院受診歴	☐ 無 ☐ 有 ID番号 ()			
患者状況	☐ 外来患者 (☐ 貴院待機中 ※患者様がお待ちの場合はチェックして下さい) ☐ 入院患者 (☐ 出来高算定 ☐ DPC ☐ その他)			
保 険	☐ 健康保険 ☐ 生活保護 ☐ 労災 ☐ その他			
特記事項	ADL (独歩 ・ 車椅子 ・ ストレッチャー)			

※ ご記入の上、診療情報提供書と共に FAXして頂きますようお願いいたします。
(貴院所定の診療情報提供書がない場合は、当センター専用紙をご利用ください。ホームページよりダウンロード可能です。)
予約通知書は患者さまにお渡しください。

患者さまが入院診療となる場合の
開放病床利用についてご記入ください。

☐ 開放病床として利用する	☐ 開放病床として利用しない
☐ 患者さまへ開放病床ご入院の趣旨を説明し同意を得ました	

申込日 令和 年 月 日

CT・MRI・RI 検査予約申込書

貴医療機関名 ()
ご住所 (〒)
貴医師名 ()
電話番号 () -
FAX () -

希望される検査(☑印を付けてください)

☐ CT	☐ 頭部 ☐ 頸部 ☐ 胸部 ☐ 胸部HRCT ☐ 骨盤 ☐ 体幹部(胸部～骨盤) ☐ 体幹部(胸部～腹部) ☐ 腹部～骨盤 ☐ 下肢
☐ MRI	☐ 頭部 ☐ 頸部MRA ☐ 頸部 ☐ 胸部(縦隔) ☐ 腹部 ☐ 骨盤 ☐ 四肢
☐ RI	☐ 骨シンチ ☐ 肺血流シンチ ☐ Gaシンチ

病名及び目的について ~日本語でお願いします~

受診を希望される日をご記入お願いします

・第1希望日()	・第2希望日()	※都合の悪い日()
-----------	-----------	------------

ご紹介いただきます患者さまについてご記入をお願いします

フリガナ			性 別	※旧姓(名字変更の場合記入)
患者氏名			男 ・ 女	
生年月日	大正 ・ 昭和 ・ 平成 ・ 令和	年 月	日生まれ (歳)	
フリガナ				
住 所				
電 話	() -	携帯電話		
当院受診歴	☐ 無 ☐ 有 ID番号 ()			
患者状況	☐ 外来患者 (☐ 貴院待機中 ※患者様がお待ちの場合はチェックして下さい) ☐ 入院患者 (☐ 出来高算定 ☐ DPC ☐ その他)			
保 険	☐ 健康保険 ☐ 生活保護 ☐ 労災 ☐ その他			
特記事項	ADL (独歩 ・ 車椅子 ・ ストレッチャー)			

当日検査来院時、持参画像の有無(☑印を付けてください)
☐ 有 ⇒ (有の場合 ☐ C D ☐ フィルム) ・ ☐ 無

※ ご記入の上、診療情報提供書と共に FAXして頂きますようお願いいたします。

(貴院所定の診療情報提供書がない場合は、当センター専用紙をご利用ください。ホームページよりダウンロード可能です。)

予約通知書は患者さまにお渡しください。

外来診療のご案内

診療受付時間 平日午前 8 時 45 分～午前 11 時
※土曜、日曜、国民の祝日、年末年始(12 月 29 日～ 1 月 3 日)は休診

初 診 初診受付(1階 1 番窓口)へお越し下さい。

以下の診療科の初診患者は紹介状が必要です

●呼吸器総合外来 ●呼吸器内科 ●肺腫瘍内科 ●呼吸器外科 ●感染症内科
●アレルギー・リウマチ内科 ●皮膚科 ●耳鼻咽喉・頭頸部外科

再 診 1 階の正面玄関前、産婦人科外来付近にある再来受付機で受付の手続きをお済ませください。

呼吸器疾患の対応について

平日9時～17時まで、夜間も診療しています。ご来院前には、必ず電話でお問い合わせください。

センターのご案内

稼働病床数 426床(一般360床、結核60床、感染6床)

設 立 1952 (昭和27) 年12月

開設者 地方独立行政法人大阪府立病院機構〔2006（平成18）年4月法人化〕

英語名称 Osaka Habikino Medical Center

主な役割・機能

- 大阪府地域医療支援病院
- 呼吸器疾患、肺がん、感染症、アレルギー性疾患医療センター機能
- 循環器内科、消化器外科、乳腺外科、産婦人科、眼科、泌尿器科、整形外科などの一般医療
- 大阪府がん診療拠点病院（肺がん）
- 大阪府アレルギー疾患医療拠点病院
- エイズ治療拠点病院
- 病院機能評価認定病院（3rdG:V2.0）

肺ドックのご案内

当センターでは、肺ドックを行っております。
喫煙者も、禁煙した方も、吸ったことない方も年に一度、呼吸器の専門病院で肺の精密検査を受けることをおすすめします。その結果を専門医が診断いたします。

検査より2週間程度で「検査結果報告書」を送付いたします

平日9時～15時までいつでも受診可能!!

※受診希望日の2週間前までにお申し込みください。

毎週火曜日17～19時も受診できます。

※但し祝日は除く

所要時間／約1時間

コース	簡 易	標 準	精 密
CT検査	●	●	●
呼吸機能	—	●	●
血液検査	—	—	●
料金(税込)	¥10,180	¥12,220	¥18,330

※自由診療の為、保険適用ではありません。

MEMO

Osaka Habikino Medical Center